# 102HW for Biz 取扱説明書

# 102HW for Biz 取扱説明書 目次

## はじめにお読みください



## ご利用にあたって



## インターネットに接続する



## 無線LANで接続する



## microUSBケーブルで接続する（Windows）



## microUSBケーブルで接続する（Mac）



## 詳細設定を行う



## 困ったときは

# はじめにお読みください

# はじめにお読みください

## 本製品をお使いになる前に

「クイックスタート」、「お願いとご注意」をご覧になり、正しくお取り扱いください。

## 記載内容について

この本書は、基本的にお買い上げ時の状態での操作方法を説明しています。

## ディスプレイ表示、ボタン表示について

この本書で記載しているディスプレイ表示は、実際の表示と異なる場合があります。本書で記載しているボタン表示は、説明用に簡略化しているため実際の表示とは異なります。

## その他の表記について

この本書では、本製品のことを「本機」と表記しています。
「microSD™／microSDHC™／microSDXC™カード」は「メモリカード」と表記しています。

## 動作環境

本機の動作環境は次のとおりです。
次の環境以外では、動作しない場合があります。また、下記に該当する場合でも、パソコン本体、接続されている周辺機器、使用するアプリケーションなど、お客様がご利用の環境によっては、正常に動作しない場合があります。

・パソコンに対するサポートやOSのバージョンアップなどのサービスに関するお問い合わせは、各パソコンのマニュアルなどをお読みの上、各メーカーの定める手順に従ってください。
・ここで記載している動作環境（対応OS）は2014年3月現在の情報です。

| 項目 | 説明 |
| --- | --- |
| OS | Windows XP Home Edition Service Pack 3以降<br>Windows XP Professional Service Pack 3以降<br>Windows Vista Home Basic（32ビットおよび64ビット）<br>Windows Vista Home Premium（32ビットおよび64ビット）<br>Windows Vista Business（32ビットおよび64ビット）<br>Windows Vista Ultimate（32ビットおよび64ビット）<br>Windows 7 Starter（32ビット）<br>Windows 7 Home Basic（32ビットおよび64ビット）<br>Windows 7 Home Premium（32ビットおよび64ビット）<br>Windows 7 Professional（32ビットおよび64ビット）<br>Windows 7 Enterprise（32ビットおよび64ビット）<br>Windows 7 Ultimate（32ビットおよび64ビット）<br>Windows 8（32ビットおよび64ビット）<br>Windows 8 Pro（32ビットおよび64ビット）<br>Windows 8 Enterprise（32ビットおよび64ビット）<br>Windows 8.1（32ビットおよび64ビット）<br>Windows 8.1 Pro（32ビットおよび64ビット）<br>Windows 8.1 Enterprise（32ビットおよび64ビット）<br>Mac OS X 10.5～10.8（32ビットおよび64ビット） |
| メモリ | Windows XP：256MB以上（推奨512MB以上）<br>Windows Vista：512MB以上（推奨1GB以上）<br>Windows 7：1GB以上（32ビット）／2GB以上（64ビット）<br>Windows 8：1GB以上（32ビット）／2GB以上（64ビット）<br>Windows 8.1：1GB以上（32ビット）／2GB以上（64ビット）<br>Mac OS X：256MB以上（推奨512MB以上） |
| ハードディスク | 推奨200MB以上（100MB以上の空き容量が必要） |

| インターフェイス | USB2.0 |
| --- | --- |
| 対応ブラウザ | Microsoft Internet Explorer 6、7、8、9、10<br>Safari 3.0以降<br>Firefox 4.0以降<br>Chrome 10以降<br>Opera 11.0以降 |

## お買い上げ品の確認

お買い上げ品には次のものが入っています。お使いになる前に確認してください。万一、不足していた場合には、お問い合わせ先までご連絡ください。保証書を含め付属品は大切に保管してください。なお、電池は本機本体に内蔵されています。お客さまによる取り外しは行えません。

- 102HW for Biz（本体）
- ACアダプタ（HWCAL1）
- microUSBケーブル（HWDAU1）
- クイックスタート
- 保証書（本体、ACアダプタ用）
- お願いとご注意
- 無線LAN初期設定シール

## 工場出荷時設定について

本機とWi-Fi（無線LAN）端末を接続するときに、SSID（ネットワーク名）とセキュリティキーが必要となります。工場出荷時は、機器固有のSSID（ネットワーク名）とセキュリティキーが設定されており、同梱されている「無線LAN初期設定シール」に記載されていますのでご確認ください。

- 本機には、2種類のSSIDが設定されています。工場出荷時に設定されているセキュリティ設定は、SSID AにWPA/WPA2、SSID BにWEPが設定されています。
- 通信の安全性を高めるためには、WEPよりもWPA/WPA2のセキュリティ設定をお勧めします。ただし、無線LAN端末によっては、この設定で接続できない場合がありますのでご注意ください。対応しているセキュリティ設定の詳しくは、無線LAN端末の取扱説明書を参照してください。

1 SSID Aとセキュリティキー（WPA、8桁）
2 SSID Bとセキュリティキー（WEP、5桁）

## ご利用にあたって

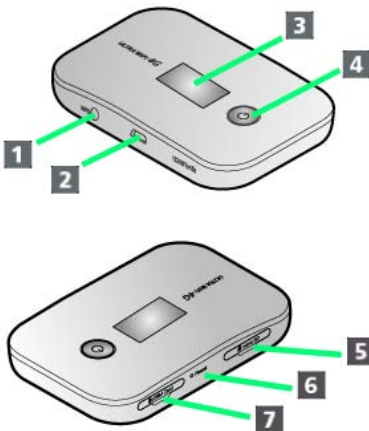
- SoftBank 4Gサービスは、専用機種以外は利用できません。
- 本機はソフトウェアアップデートに対応しております。ソフトウェアは最新の状態でご利用ください。
- 本機並びにユーティリティソフトウェアには、あらかじめ定額プランに対応した接続先が設定されています（初期出荷状態）。該当の接続先は当社ネットワークにて帯域の制御を行います。
- 回線の混雑状態や通信環境などにより、通信速度が低下、または通信できなくなる場合があります。あらかじめご了承ください。
- 海外で無線LANをご利用される場合は、その国の法律に基づいた設定変更が必要となります。
- 本機は法人専用機種であり、管理者による機能制御が可能です。機能制御の内容によっては、本書に記載の設定や操作が行えない場合があります。

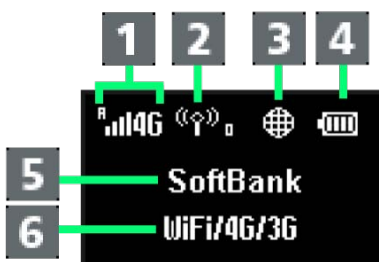
## 知的財産権について

- SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- Microsoft®、Windows®、Internet Explorer、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
- WindowsはMicrosoft Windows operating systemの略称として表記しています。
- iPhoneの商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。iPhone、iPad、Multi-TouchはApple inc. の登録商標です。TM and © 2011 Apple Inc. All rights reserved.
- AppleはApple Inc. の商標です。
- microSD、microSDHC、microSDXCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。
- 「Android™」は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

# ご利用にあたって

# 各部の名称とはたらき

## 本体について

| 名称 | 説明 |
|---|---|
| 1 WPSボタン | WPS機能を開始します。 |
| 2 外部接続端子 | microUSBケーブルを接続します。 |
| 3 ディスプレイ | 本機の状態が表示されます。 |
| 4 電源ボタン | 電源を入／切します。 |
| 5 メモリカードスロット | メモリカードを挿入します。 |
| 6 Resetボタン | 本機をお買い上げ時の状態に戻します。 |
| 7 USIMカードスロット | USIMカードを挿入します。 |

## ディスプレイの見かた

- 1 ネットワークの受信レベルと種類
- 2 無線LAN接続状態表示
- 3 インターネット接続状態表示
- 4 電池残量表示
- 5 接続中のネットワーク名
- 6 インターネット接続モード状態表示

## アイコンの見かた

本体ディスプレイに表示されるおもなアイコンは以下のとおりです。

| アイコン | 説明 |
|---|---|
| | 受信レベル強（モバイルネットワーク） |
| | 受信レベル弱（モバイルネットワーク） |
| 圏外 | 圏外（モバイルネットワーク） |
| R | ローミング中 |
| 4G | SoftBank 4G接続中 |
| 3G | SoftBank 3G接続中 |
| | 受信レベル強（インターネットWi-Fi） |
| | 受信レベル弱（インターネットWi-Fi） |
| | 無線LAN接続状態（数字は接続端末とインターネットWi-Fiの合計台数） |
| | インターネット接続中（接続切断中は非表示） |
| | 電池残量は充分です |
| | 電池残量が少なくなっています |
| | 電池残量がほとんどなくなっています（点滅） |
| WiFi/4G/3G | インターネットWi-Fi接続中 |
| 4G/3G | モバイルネットワークのみ接続中 |

## アニメーション／テキスト表示について

本機では、通信状態、異常状態の情報をアニメーションまたはテキストによってお知らせします。

| 画面表示 | 説明 |
|---|---|
| No Service | 圏外です。 |
| SoftBank | 現在接続しているネットワーク名です。 |
| Insert USIM | USIMカードが取り付けられていません。 |
| Invalid USIM | 無効なUSIMカードが取り付けられています。 |
| USIM Locked | USIMカードが完全ロック状態です。 |
| Enter PIN | PINコードの入力待ち状態です。102HW for Biz設定ツールでPINコード認証が必要です。 |
| Enter PUK | PUKコードの入力待ち状態です。102HW for Biz設定ツールでPUKコード入力が必要です。 |
| Roaming! Please access Web UI to reconnect! | 海外ローミングエリア圏内です。 |
| BATTERY ERROR | 内蔵電池の異常です。 |
| Low Battery | 電池残量がほとんど残っておりません。直ちに充電してください。 |

## ボタンについて

本機のボタンで以下の操作ができます。

| 動作 | 説明 |
|---|---|
| 電源を入れる／切る | 電源ボタンを約2秒押す。 |
| 強制的に電源を切る | 電源ボタンを約10秒以上押す。<br>本機の動作が停止してしまったときなど、強制的に電源を切ります。 |
| インターネットWi-Fiのオン／オフ | WPSボタンを約1秒押す。 |
| 現在のSSID／セキュリティキーの確認（無線LANがオン時） | WPSボタンを続けて2回押すとSSID AのSSID／セキュリティキーが、再度WPSボタンを続けて2回押すとソフトウェアバージョンが表示されます。 |
| 現在のSSID／セキュリティキーの確認（無線LANがオフ時） | WPSボタンを続けて2回押すとSSID AのSSID／セキュリティキーが、再度WPSボタンを続けて2回押すとSSID BのSSID／セキュリティキーが、さらにWPSボタンを続けて2回押すとソフトウェアバージョンが表示されます。 |
| ソフトバンクWi-Fiスポットログイン | 電源ボタンとWPSボタンを同時に約2秒押す。<br>ソフトバンクWi-Fiスポットアカウントの暗証番号入力画面が表示されます。暗証番号入力画面で、WPSボタンを短く押すとボックス移動、電源ボタンを短く押すと番号入力ができます。 |
| WPS接続（インターネットWi-Fi） | WPSボタンを約3秒押す ➔ WPSボタンを押す。 |
| WPS接続（無線LAN） | WPSボタンを約3秒押す ➔ 電源ボタンを押す。 |
| ソフトウェア更新（通知画面） | 電源ボタンを短く押すと、ソフトウェア更新を開始します。<br>WPSボタンを短く押すと、ソフトウェア更新はキャンセルされます。 |

## スリープモードについて

本機の操作をしばらく行わなかったときは、本機のディスプレイが自動的に消灯します。再度ディスプレイを点灯させるには、いずれかのボタンを押してください。

- データ通信がされていない状態で、本機の操作をしばらく行わなかったとき、また充電していないときは、省電力状態のスリープモードになります。
- スリープモードになると、インターネット未接続になりますので、いずれかのボタンを押してスリープモードを解除し、インターネットに再接続してください。
- ご利用環境や設定により、端末がスリープモードから通信可能な状態に戻るまでの時間は異なります。

# USIMカードについて

USIMカードは、お客様の電話番号や情報などが記憶されたICカードです。

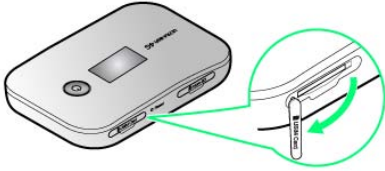
## USIMカードのお取り扱い

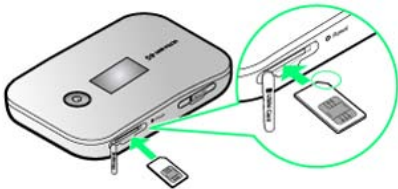
- 他社製品のICカードリーダーなどにUSIMカードを挿入し故障した場合は、お客様ご自身の責任となり当社は責任を負いかねますのであらかじめご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- USIMカードにラベルなどを貼り付けないでください。故障の原因となります。
- USIMカードのお取り扱いについては、USIMカードに付属している説明書を参照してください。
- USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- 紛失・破損によるUSIMカードの再発行は有償となります。
- 解約などの際は、当社にご返却ください。
- お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされます。
- USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。
- お客様ご自身でUSIMカードに登録された情報内容は、控えをとっておかれることをおすすめします。登録された情報内容が消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- USIMカードや本機（USIMカード挿入済み）を盗難・紛失された場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。詳しくは、お問い合わせ先までご連絡ください。
- USIMカードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。

1 IC部分

## USIMカードを取り付ける

必ず電源を切った状態で行ってください。

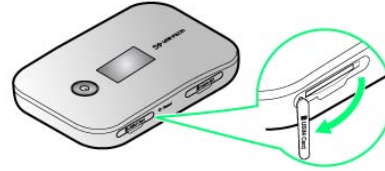
USIMカードスロットカバーを開く

・USIMカードスロットの下にある凹みに爪を入れて、カバーを引き出しながら本体下側に回します。

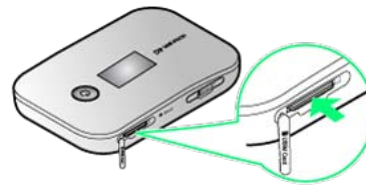
USIMカードのIC部分を上にして、カチッと音がするまで挿入する

USIMカードが取り付けられます。

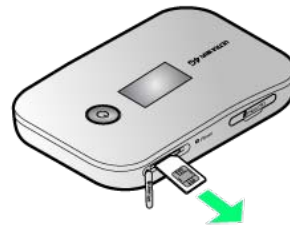
・USIMが完全に取り付けられていることを確認し、USIMカードスロットカバーを閉じます。

## USIMカードを取り外す

必ず電源を切った状態で行ってください。

USIMカードスロットカバーを開く

・USIMカードスロットの下にある凹みに爪を入れて、カバーを引き出しながら本体下側に回します。

USIMカードを押し込み、ゆっくり離す

・USIMカードが少し出てきます。

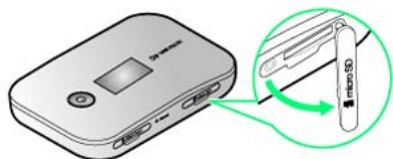
少し出てきたUSIMカードを手前に引き出す

USIMカードが取り外されます。

・取り外したら、USIMカードスロットカバーを閉じます。

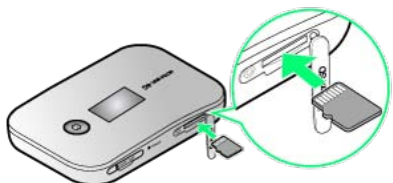
# メモリカードについて

本機にメモリカードを取り付けると、microUSBケーブルで接続したパソコンや無線LAN接続した無線LAN端末で、メモリカードを共有することができます。

## メモリカードを取り付ける

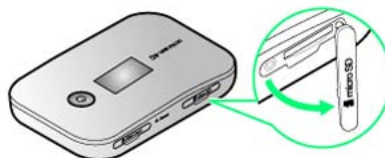
必ず電源を切った状態で行ってください。

メモリカードスロットカバーを開く

・メモリカードスロットの下にある凹みに爪を入れて、カバーを引き出しながら本体下側に回します。

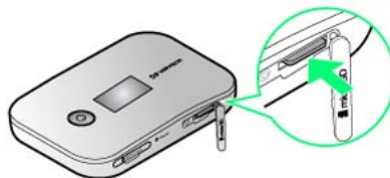
メモリカードの金属端子を上に向けて、カチッと音がするまで挿入する

メモリカードが取り付けられます。

・メモリカードが完全に取り付けられていることを確認し、スロットカバーを閉じてください。

## メモリカードを取り外す

必ず電源を切った状態で行ってください。

メモリカードスロットカバーを開く

・メモリカードスロットの下にある凹みに爪を入れてカバーを持ち上げます。

メモリカードを押し込み、ゆっくり離す

メモリカードが少し出てきます。

少し出てきたメモリカードを取り外す

メモリカードが取り外されました。

・取り外したら、メモリカードスロットカバーを閉じます。

### メモリカード利用時のご注意

**メモリカードの容量について**

本機は最大2GB（microSD）／32GB（microSDHC）／64GB（microSDXC）までのメモリカードに対応しています。ただし、すべてのメモリカードの動作を保証するものではありません。

**データ読み出し／書き込み中の操作について**

メモリカードが動作中には、メモリカードを取り外したり、電源を切ったりしないでください。保存されているデータが破損したり、システムがダウンしたり、そのほかの異常を起こしたりするおそれがあります。

**取り付けについて**

メモリカードがカチッと音がするまでしっかりと押し込んでください。確実にロックされる前に指を離すと、メモリカードが飛び出す可能性がありますのでご注意ください。また、取り付ける時にメモリカードスロットを顔などの方に向けないでください。

**取り外しについて**

メモリカードが出てきてもすぐに指を離さないようにしてください。急に指を離すと、メモリカードが飛び出す可能性がありますのでご注意ください。また、メモリカードを取り外すときは、メモリカードスロットを顔などの方に向けないでください。

**紛失について**

取り外したメモリカードは紛失しないよう、ご注意ください。

**データについて**

メモリカードの登録内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておくことをおすすめします。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

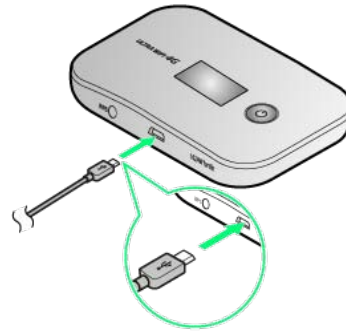
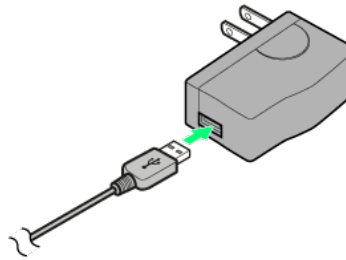
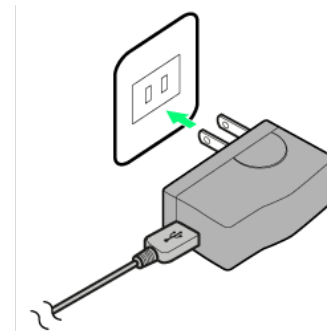
**電池残量について**

電池残量が少ないとデータの読み込みや書き込みができない場合があります。

# 充電する

お買い上げ時、内蔵電池は十分に充電されていません。初めてお使いになるときは、必ず充電してからお使いください。

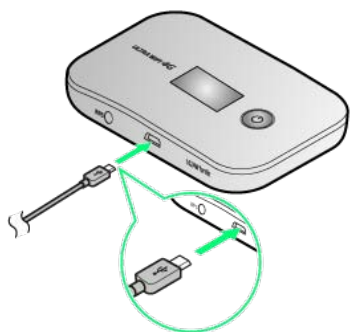
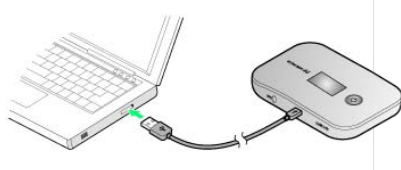
## ACアダプタで充電する

本機の外部接続端子にmicroUSBケーブルのmicroUSBプラグを接続する

microUSBケーブルのもう一方のプラグ（USBプラグ）をACアダプタに接続する

ACアダプタのプラグをACコンセントに差し込む

充電が開始されます。

## パソコンと接続して充電する

付属のmicroUSBケーブルを使用して充電します。

・必ずパソコンの電源を入れた状態で行ってください。
・パソコンの接続環境によっては、充電できない場合があります。

本機の外部接続端子にmicroUSBケーブルのmicroUSBプラグを接続する

microUSBケーブルのもう一方のプラグ（USBプラグ）をパソコンのUSBポートに接続する

充電が開始されます。

・本機を初めてパソコンに接続したときは、デバイスドライバが自動的にインストールされます。詳しくは、「Windowsパソコンへのセットアップ」「Macへのセットアップ」を参照してください。

### 充電時のご注意

#### 周辺機器について

充電の際は、必ず同梱のACアダプタとmicroUSBケーブルをご利用ください。

#### 取り付けについて

microUSBケーブルを取り付けるときは正しい方向に無理なく取り付けてください。逆方向に取り付けようとすると、破損や故障の原因となります。

#### パソコンでの充電について

ACアダプタを使用した場合より、充電に時間がかかります。また、接続するパソコンにより、充電にかかる時間が異なります。

#### 本機やACアダプタの発熱について

充電中は本機やACアダプタなどが温かくなることがありますが、故障ではありません。ただし、極端に熱くなる場合には異常の可能性がありますので、その場合にはただちに使用を中止してください。

#### 長時間ご利用時のご注意

本機を長時間ご使用になる場合や充電中など、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

# 電源を入れる／切る

## 電源を入れる

電源ボタンを約2秒押す

電源が入ります。

・電源が入ると、無線LANルーター（ソフトバンクWi-Fiスポット含む） → SoftBank 4G → SoftBank 3Gの順番でネットワークを検索し、インターネットに接続されます。ネットワーク検索の優先モードは、102HW for Biz設定ツールで変更することができます。詳しくは、「ネットワークの優先モード変更」を参照してください。

## 電源を切る

電源が入っている状態で、電源ボタンを約2秒押す

電源が切れます。

## 強制的に電源を切る

本機が動作しなくなった場合などに利用します。

電源が入っている状態で、電源ボタンを約10秒押す

電源が切れます。

# インターネットに接続する

# インターネット接続について

## 概要

本機は、さまざまな無線LAN対応機器をワイヤレスで接続して、インターネットによるデータ通信ができるモバイルWi-Fiルーターです。

・会社などの無線LANルーターやソフトバンクWi-Fiスポットなどの公衆無線LANサービスを利用して、Wi-Fiでインターネット接続をすることをインターネットWi-Fiといいます。簡単な設定でWi-Fiの高速回線を使ってインターネット接続できます。
・本機は、電源を入れると無線LANルーター（ソフトバンクWi-Fiスポット含む） ➔ SoftBank 4G ➔ SoftBank 3Gの順番でネットワークを検索し、インターネットに接続されます。また、通信エリアに合わせて、インターネットWi-Fiから4G／3G（逆も含む）に自動的に回線を切り替えます。

# 4G／3Gで接続する

## 概要

本機の電源を入れると、ネットワークを自動的に検索し、無線LANルーターが検索されない場合は、4G／3Gネットワークに接続します。

# インターネットWi-Fi接続する

会社などの無線LANルーターや、ソフトバンクWi-Fiスポットなどの公衆無線LANサービスと接続して、インターネットに接続します。

## WPS対応の無線LANルーターに接続する

会社などの無線LANルーターがWPS対応機器の場合、簡単な操作でインターネット接続の設定ができます。

- 本機の電源を入れた状態で行ってください。
- お使いの無線LANルーターによって操作は異なります。詳しくは、無線LANルーターの取扱説明書をご確認ください。

無線LANルーターの無線LAN機能をオンにする

本機のWPSボタンを3秒押す

本機のディスプレイにWPSセットアップ画面が表示されます。

WPSボタンを押す

無線LANルーターとのWPS接続を開始します。

無線LANルーターでWPS機能の接続操作を行う

無線LANルーターとのWPS機能での接続が完了します。

- WPS接続に成功すると、本体ディスプレイの無線LAN接続数表示のカウントが１つ増えます。

## WPS非対応の無線LANルーターに接続する

会社などの無線LANルーターを検索して接続する場合、102HW for Biz設定ツールで設定します。
詳しくは、「インターネットWiFiの設定」を参照してください。

- 本機の電源を入れた状態でパソコンと接続し、102HW for Biz設定ツールを起動してから接続設定を行ってください。

### SSIDとセキュリティキーの確認操作

無線LANでの接続を行う場合には、ネットワーク名（SSID）とセキュリティキーが必要です。現状の設定を本体ディスプレイに表示して確認することができます。

本機のWPSボタンを続けて2回押す

SSID Aのネットワーク名とセキュリティキーが表示されます。

### 無線LANのセキュリティおよびWPS機能利用上のご注意

#### SSIDステルスについて

SSID AのSSIDステルスが有効の場合は、WPS機能による接続は行えません。102HW for Biz設定ツールでSSIDステルスの設定を変更してください。

#### 暗号化方式の変更について

SSID Aの暗号化方式がWEPの場合でも、WPS機能が開始されると、暗号化方式がWPAに変更されます。WPS接続を行う以前に、SSID AがWEPまたは暗号化なしの状態で接続していた無線LAN端末は暗号化方式をWPAに変更する必要があります。

#### 暗号化方式が「暗号化なし」の場合

SSID Aの暗号化方式が暗号化なしの場合は、WPA機能を開始できません。暗号化方式を暗号化なし以外に変更してからご利用ください。

#### セキュリティについてのご注意

通信の安全性を高めるために、暗号化方式はWEPよりもWPA/WPA2に設定することをお勧めします。ただし、無線LAN端末によっては、この方式で接続できない場合がありますのでご注意ください。

# ソフトバンクWi-Fiスポットを利用する

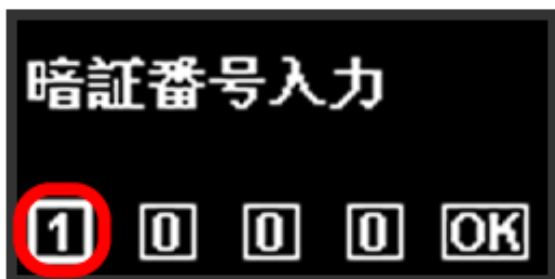
ソフトバンクWi-Fiスポット機能をONに設定すると、ソフトバンクWi-Fiスポットのサービスエリアに入れば自動でインターネットWi-Fiに接続されます。

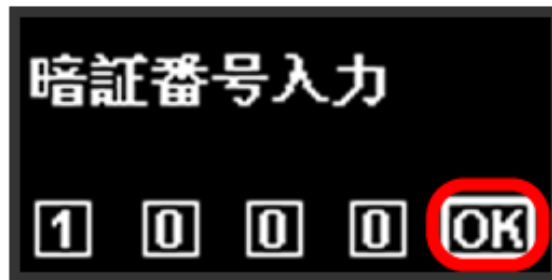
## 接続用の暗証番号を設定する

本機の電源を入れた状態で行ってください。

電源ボタンとWPSボタンを同時に約2秒押す

ソフトバンクWi-Fiスポット暗証番号入力画面が表示されます。

WPSボタンを押してボックスを移動 → 電源ボタンを押して番号を入力する

- WPSボタンを押すたびに、入力可能なボックスが切り替わります。修正が必要なボックスに移動して修正してください。
- 電源ボタンを押すたびに数字が切り替わります。数字が切り替わるまで電源ボタンを確実に押してください。

入力した暗証番号を確認し、最後のボックス（「OK」）で電源ボタンを押す

ソフトバンクWi-Fiスポットの暗証番号が設定されます。

- ソフトバンクWi-Fiスポットのサービスエリアに入れば、自動で接続されます。

## ソフトバンクWi-Fiスポット接続設定について

### ソフトバンクWi-Fiスポットについて

ソフトバンクWi-Fiスポットは任意加入のオプションサービスです。ご利用には別途お申込みが必要です。

### 初期パスワードについて

ソフトバンクWi-Fiスポットの初期パスワードは、ご契約時に設定された4桁の暗証番号となります。

### お買い上げ時の設定について

お買い上げ時、ソフトバンクWi-Fiスポット機能はOFFに設定されています。

### ソフトバンクWi-Fiスポット接続の詳細設定について

ソフトバンクWi-Fiスポット機能のON／OFFや、接続用の暗証番号の変更を102HW for Biz設定ツールで行うことができます。詳しくは、「インターネットWi-Fi」を参照してください。

## ソフトバンクWi-Fiスポット利用時のご注意

102HW for Biz設定ツールで、インターネットWi-Fi機能（ソフトバンクWi-Fiスポット含む）をオフからオンにしたとき、パソコンや無線LAN端末、スマートフォンなどとの無線LAN接続はいったん切断され、再度接続しなおしますのでご注意ください。

# 無線LANで接続する

# 無線LAN（Wi-Fi）について

本機は、電源を入れると自動的にインターネットに接続され、無線LANにより同時に複数のパソコンなどの無線LAN端末と接続して、データ通信が行えます。また、ソフトバンクWi-Fiスポットなどの公衆無線LANアクセスポイントがある場所では、無線LAN接続による高速通信を利用できます。

## 概要

本機はIEEE802.11b/g/nの無線LAN規格に対応しており、本機と無線LAN端末（パソコンなど）を無線LANで接続して、最大300Mbps（IEEE802.11n接続時）／最大54Mbps（IEEE802.11g接続時）／最大11Mbps（IEEE802.11b接続時）のデータ通信ができます。
また、本機はWPS（Wi-Fi Protected Setup）機能に対応しており、お使いの無線LAN端末がWPS機能に対応している場合には、無線LANの接続設定を簡単に行うことができます。WPS機能に対応していない無線LAN端末でも、本機に設定されたSSIDとセキュリティキーを入力するだけで簡単に接続することができます。

- これらの設定は、初めて接続するときに行います。いったん設定した後は、本機および無線LAN端末の無線LAN機能をオンにするだけで、自動的に接続が再開されます（無線LAN対応端末側で自動的に再接続する設定がされている場合）。
- 本機はmicroUSBケーブルでパソコンと接続してデータ通信が行えます。本機をmicroUSBケーブルでパソコンと接続した場合は、ドライバのインストールを含むセットアップが必要です。詳しくは、「WindowsパソコンとのUSB接続について」「MacとのUSB接続について」を参照してください。

### 無線LANについて

#### 詳細設定について

必要に応じて、無線LAN機能の詳細設定を変更することができます。詳しくは、「LAN Wi-Fi」を参照してください。

#### 同時接続台数

無線LAN端末は最大10台接続できます。ただし、インターネットWi-FiがONのときは最大9台となります。また、無線LAN接続とUSB接続を同時に利用することもでき、その場合の最大接続台数は無線LAN接続10台（インターネットWi-Fi含む）、USB接続1台の合計11台となります。

#### Wi-Fi接続を最適化するための自動更新について

Wi-Fi接続している場合、接続を最適化するための設定を自動的に受信／更新することがあります。

### SSIDとセキュリティキーの確認操作

無線LANでの接続を行う場合には、ネットワーク名（SSID）とセキュリティキーが必要です。現状の設定を本体ディスプレイに表示して確認することができます。

本機のWPSボタンを続けて2回押す

SSID Aのネットワーク名とセキュリティキーが表示されます。

- SSID Bを設定している場合は、再度続けて2回押すとSSID Bの情報が表示されます。

### 無線LANのセキュリティについてのご注意

#### 無線LANの初期設定について

ネットワーク名（SSID）とセキュリティキーの初期設定は、同梱の無線LAN初期設定シールを参照してください。

#### 通信の安全性を高めるためには

お買い上げ時のSSIDとセキュリティキーは変更してお使いになるようお勧めします。
また、暗号化方式はWEPよりもWPA/WPA2に設定することをお勧めします。ただし無線LAN端末によっては、この方式で接続できない場合がありますのでご注意ください。

# Windowsパソコンを接続する

本機の無線LANセキュリティ設定の暗号化方式が「WPA/WPA2」の場合を例にして説明します。

## Windows 8で接続する

本機の電源が入った状態で行ってください。

・Windows 8.Xをご利用の場合、Windows 8の画面や表示されるメッセージとは異なる場合があります。

パソコンの無線LAN機能をオンにする

・パソコンの無線LAN機能をオンにする方法は機種ごとに異なります。各パソコンメーカーに確認してください。

スタート画面の右端からスワイプ（マウスの場合は画面右上をポイント） ➔ チャームで ⚙ ➔ 

本機の「SSID」（102HWBz-XXXXXX）が表示されている項目をクリック ➔ 接続

セキュリティキーを正しく入力 ➔ 次へ

無線LAN接続されます。

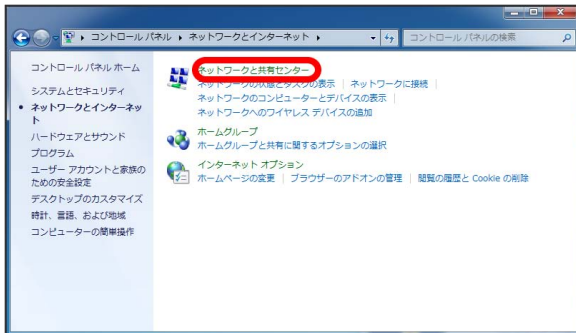
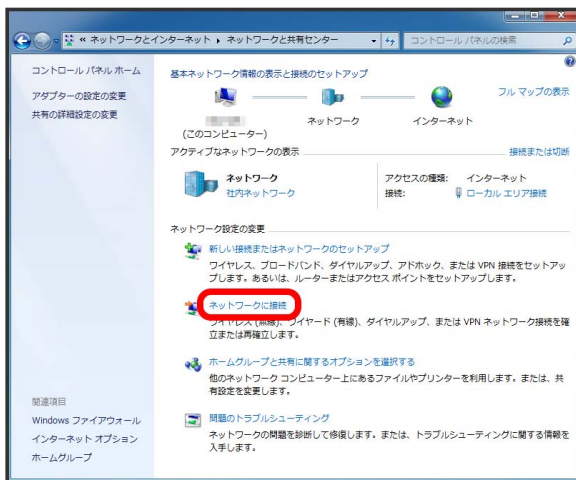
・無線LAN接続に成功すると、本体ディスプレイの無線LAN接続数表示のカウントが１つ増えます。
・PCの共有についての確認メッセージが表示される場合がありますが、ここでは設定しません。PCの共有については、Windowsのヘルプを参照してください。

## Windows 7で接続する

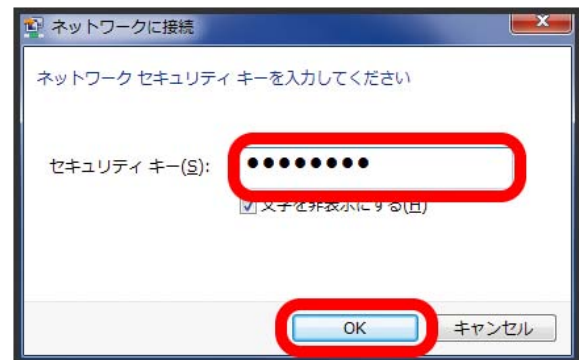
本機の電源が入った状態で行ってください。

パソコンの無線LAN機能をオンにする

・パソコンの無線LAN機能をオンにする方法は機種ごとに異なります。各パソコンメーカーに確認してください。

スタート ➔ コントロールパネル ➔ ネットワークとインターネット ➔ ネットワークと共有センター

ネットワークに接続



本機の「SSID」（102HWBz-XXXXXX）が表示されている項目をクリック ➔ 接続

セキュリティキーを正しく入力 ➔ OK

無線LAN接続されます。

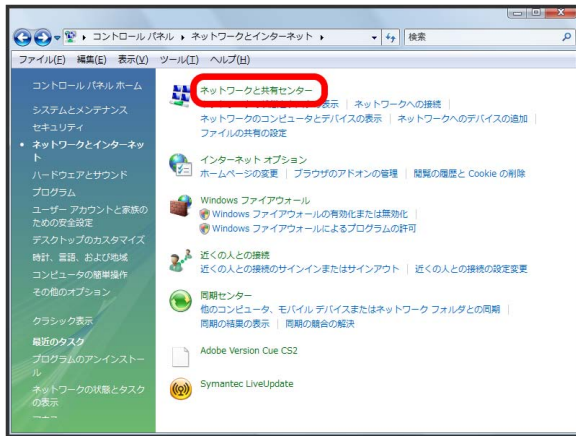
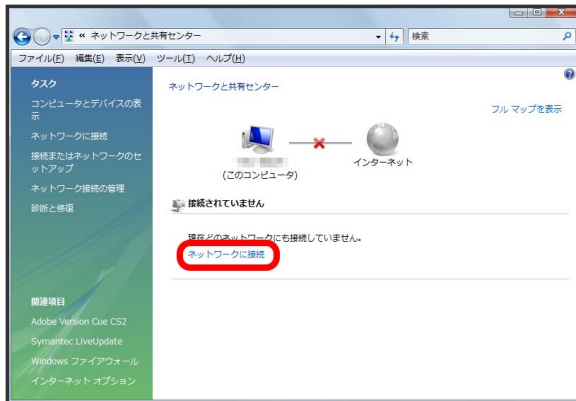
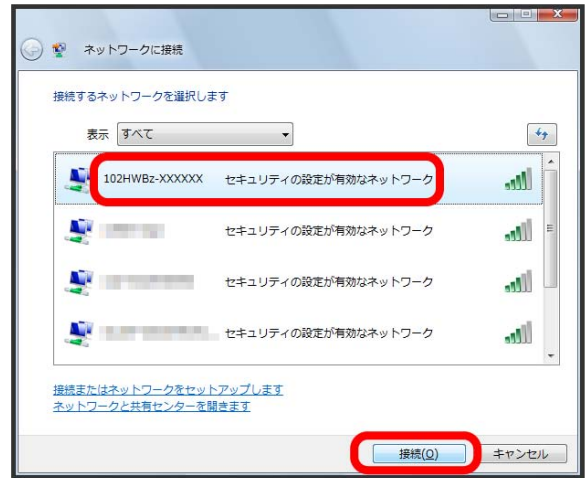
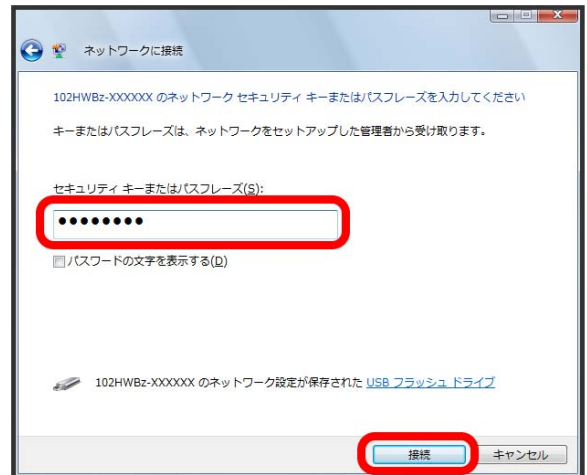
・無線LAN接続に成功すると、本体ディスプレイの無線LAN接続数表示のカウントが１つ増えます。

## Windows Vistaで接続する

本機の電源が入った状態で行ってください。

パソコンの無線LAN機能をオンにする

・パソコンの無線LAN機能をオンにする方法は機種ごとに異なります。各パソコンメーカーに確認してください。

スタート → コントロールパネル → ネットワークとインターネット → ネットワークと共有センター

ネットワークに接続

本機の「SSID」（102HWBz-XXXXXX）が表示されている項目をクリック → 接続

セキュリティキーを正しく入力 → 接続

無線LAN接続されます。

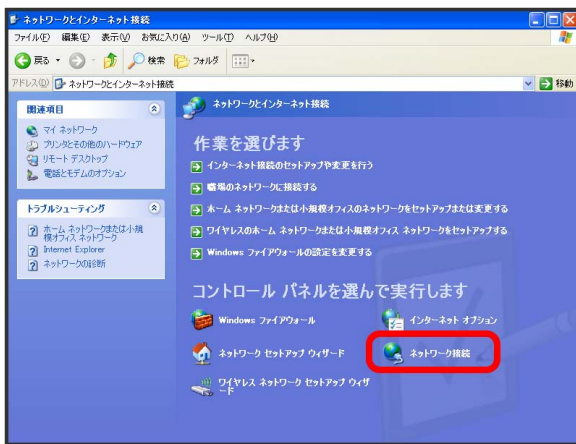
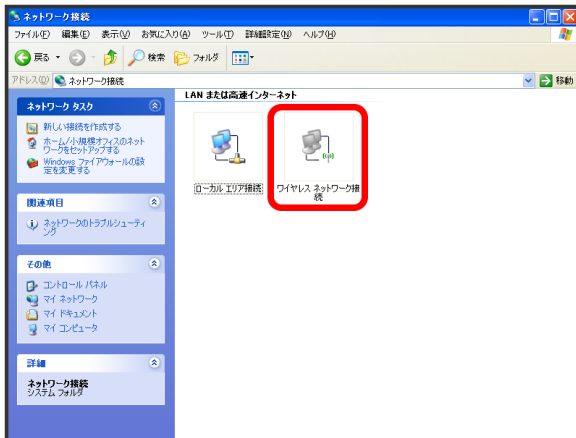
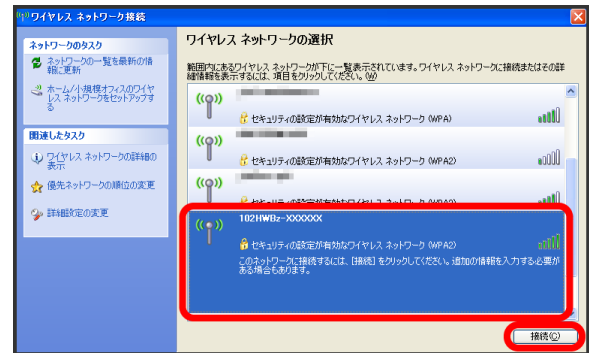
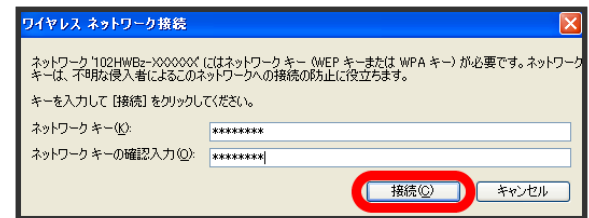
・無線LAN接続に成功すると、本体ディスプレイの無線LAN接続数表示のカウントが１つ増えます。

## Windows XPで接続する

本機の電源が入った状態で行ってください。

パソコンの無線LAN機能をオンにする

・パソコンの無線LAN機能をオンにする方法は機種ごとに異なります。各パソコンメーカーに確認してください。

3

ワイヤレス ネットワーク接続

本機の「SSID」（102HWBz-XXXXXX）が表示されている項目をクリック ➔ 接続

セキュリティキーを「ネットワークキー」と「ネットワークキーの確認入力」に正しく入力 ➔ 接続

無線LAN接続されます。

・無線LAN接続に成功すると、本体ディスプレイの無線LAN接続数表示のカウントが１つ増えます。

### SSIDとセキュリティキーの確認操作

無線LANでの接続を行う場合には、ネットワーク名（SSID）とセキュリティキーが必要です。現状の設定を本体ディスプレイに表示して確認することができます。

本機のWPSボタンを続けて2回押す

SSID Aのネットワーク名とセキュリティキーが表示されます。

・SSID Bを設定している場合は、再度続けて2回押すとSSID Bの情報が表示されます。

### 無線LANのセキュリティについてのご注意

#### 無線LANの初期設定について

ネットワーク名（SSID）とセキュリティキーの初期設定は、同梱の無線LAN初期設定シールを参照してください。

#### 通信の安全性を高めるためには

お買い上げ時のSSIDとセキュリティキーは変更してお使いになるようお勧めします。
また、暗号化方式はWEPよりもWPA/WPA2に設定することをお勧めします。ただし無線LAN端末によっては、この方式で接続できない場合がありますのでご注意ください。

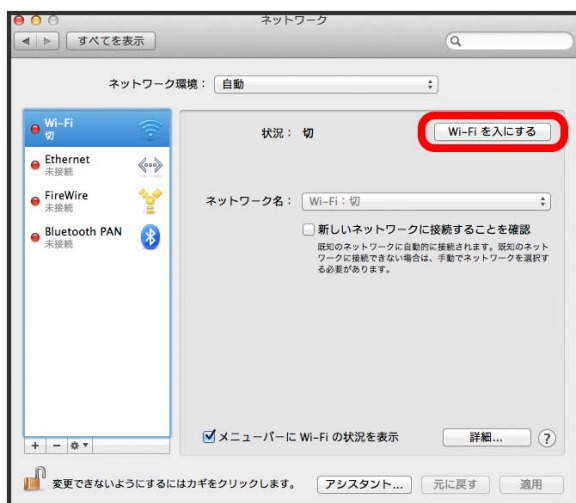
# Macを接続する

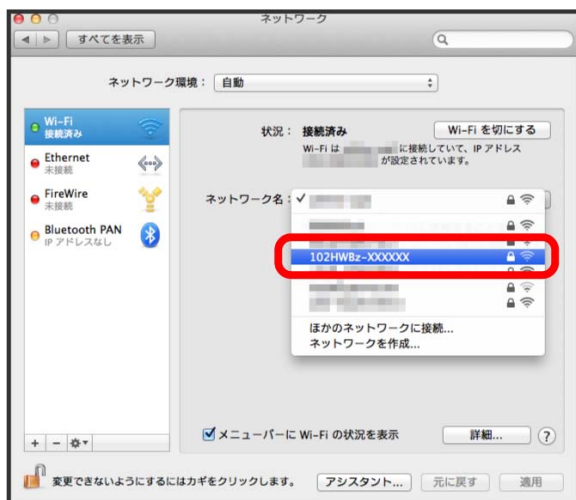
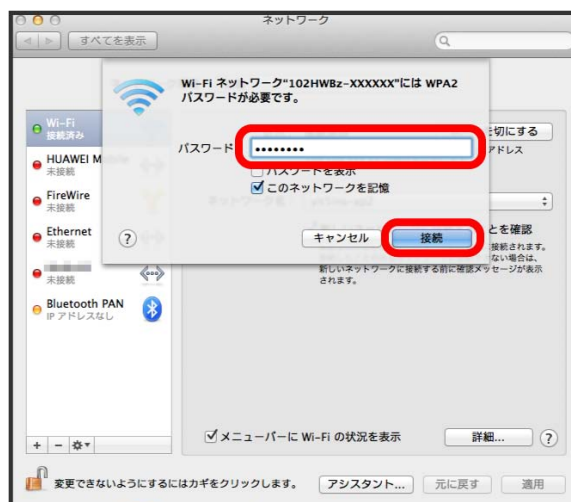
無線LANセキュリティ設定の暗号化方式が「WPA」の場合を例にして説明します。

## Macを接続する（Mac OS X 10.8の場合）

本機の電源が入った状態で行ってください。

アップルメニュー ➔ システム環境設定... ➔ ネットワーク

Wi-Fi ➔ Wi-Fiを入にする

無線LANがオンになります。

「ネットワーク名」のプルダウンリストから本機の「SSID」（102HWBz-XXXXXX）が表示されている項目を選択する

セキュリティキーを正しく入力 ➔ 「このネットワークを記憶」をクリック ➔ 接続

無線LAN接続されます。

- 無線LAN接続に成功すると、本体ディスプレイの無線LAN接続数表示のカウントが１つ増えます。

## SSIDとセキュリティキーの確認操作

無線LANでの接続を行う場合には、ネットワーク名（SSID）とセキュリティキーが必要です。現状の設定を本体ディスプレイに表示して確認することができます。

本機のWPSボタンを続けて2回押す

SSID Aのネットワーク名とセキュリティキーが表示されます。

- SSID Bを設定している場合は、再度続けて2回押すとSSID Bの情報が表示されます。

## 無線LANのセキュリティについてのご注意

### 無線LANの初期設定について

ネットワーク名（SSID）とセキュリティキーの初期設定は、同梱の無線LAN初期設定シールを参照してください。

### 通信の安全性を高めるためには

お買い上げ時のSSIDとセキュリティキーは変更してお使いになるようお勧めします。

また、暗号化方式はWEPよりもWPA/WPA2に設定することをお勧めします。ただし無線LAN端末によっては、この方式で接続できない場合がありますのでご注意ください。

# iPhone／iPadを接続する

無線LANセキュリティ設定の暗号化方式が「WPA」の場合を例にして説明します。

## iPhoneを接続する

本機の電源が入った状態で行ってください。

iPhoneを起動し、ホーム画面で 設定 → Wi-Fi

Wi-Fiを オン

アクセスポイントを検索します。

・すでにWi-Fiが「オン」の場合は操作 に進みます。

検索結果から本機の「SSID」（102HWBz-XXXXXX）が表示されている項目をタッチする

セキュリティキーを正しく入力し、 接続

無線LAN接続されます。

・無線LAN接続に成功すると、本体ディスプレイの無線LAN接続数表示のカウントが１つ増えます。

## iPadを接続する

本機の電源が入った状態で行ってください。

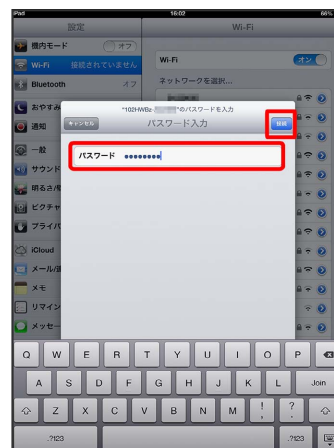
**1**

iPadを起動し、ホーム画面で  設定 → 設定リストで  Wi-Fi → Wi-Fiを オン

アクセスポイントを検索します。

**2**

本機の「SSID」（102HWBz-XXXXXX）が表示されている項目をタッチする

パスワードを正しく入力し、 接続

無線LAN接続されます。

・無線LAN接続に成功すると、本体ディスプレイの無線LAN接続数表示のカウントが１つ増えます。

### SSIDとセキュリティキーの確認操作

無線LANでの接続を行う場合には、ネットワーク名（SSID）とセキュリティキーが必要です。現状の設定を本体ディスプレイに表示して確認することができます。

本機のWPSボタンを続けて2回押す

SSID Aのネットワーク名とセキュリティキーが表示されます。

・SSID Bを設定している場合は、再度続けて2回押すとSSID Bの情報が表示されます。

### 無線LANのセキュリティについてのご注意

#### 無線LANの初期設定について

ネットワーク名（SSID）とセキュリティキーの初期設定は、同梱の無線LAN初期設定シールを参照してください。

#### 通信の安全性を高めるためには

お買い上げ時のSSIDとセキュリティキーは変更してお使いになるようお勧めします。
また、暗号化方式はWEPよりもWPA/WPA2に設定することをお勧めします。ただし無線LAN端末によっては、この方式で接続できない場合がありますのでご注意ください。

# スマートフォンを接続する

無線LANセキュリティ設定の認証方式が「WPA/WPA2」の場合を例にして説明します。

## スマートフォンを接続する

一般的なAndroid端末と本機を接続してインターネットに接続します。本機の電源が入った状態で行ってください。

スマートフォンのメニューから 設定 ➔ 無線とネットワーク ➔ Wi-Fiを オン

本機の「SSID」（102HWBz-XXXXXX）の項目を選択する

セキュリティキーを正しく入力し、 接続

無線LAN接続されます。

・無線LAN接続に成功すると、本体ディスプレイの無線LAN接続数表示のカウントが１つ増えます。

## SSIDとセキュリティキーの確認操作

無線LANでの接続を行う場合には、ネットワーク名（SSID）とセキュリティキーが必要です。現状の設定を本体ディスプレイに表示して確認することができます。

本機のWPSボタンを続けて2回押す

SSID Aのネットワーク名とセキュリティキーが表示されます。

・SSID Bを設定している場合は、再度続けて2回押すとSSID Bの情報が表示されます。

## 無線LANのセキュリティについてのご注意

### 無線LANの初期設定について

ネットワーク名（SSID）とセキュリティキーの初期設定は、同梱の無線LAN初期設定シールを参照してください。

### 通信の安全性を高めるためには

お買い上げ時のSSIDとセキュリティキーは変更してお使いになるようお勧めします。

また、暗号化方式はWEPよりもWPA/WPA2に設定することをお勧めします。ただし無線LAN端末によっては、この方式で接続できない場合がありますのでご注意ください。

# WPS対応の無線LAN端末を接続する

## WPS対応の無線LAN端末を接続する

本機の電源が入った状態で行ってください。

・WPS機能を実行して無線LAN端末と接続する場合は、「SSID A」に接続されます。
・WPS機能開始から約2分の間に機器の接続がない場合には、暗号化方式が元の設定に戻ります。
・無線LAN対応端末ごとにWPS機能の設定方法が異なります。お使いの無線LAN対応端末に添付されている取扱説明書などを参照してください。

無線LAN端末の無線LAN機能をオンにし、必要に応じてWPS設定の準備操作を行う

本機のWPSボタンを約3秒押す

WPSセットアップ画面が表示されます。

本機の電源ボタンを押す

無線LAN端末とのWPS接続を開始します。

無線LAN端末でWPS機能の接続操作を行う

WPS機能での接続が完了します。

・無線LAN接続に成功すると、本体ディスプレイの無線LAN接続数表示のカウントが１つ増えます。

### SSIDとセキュリティキーの確認操作

無線LANでの接続を行う場合には、ネットワーク名（SSID）とセキュリティキーが必要です。現状の設定を本体ディスプレイに表示して確認することができます。

本機のWPSボタンを続けて2回押す

SSID Aのネットワーク名とセキュリティキーが表示されます。

### 無線LANのセキュリティおよびWPS機能利用上のご注意

#### SSIDステルスについて

SSID AのSSIDステルスが有効の場合は、WPS機能による接続は行えません。102HW for Biz設定ツールでSSIDステルスの設定を変更してください。

#### 暗号化方式の変更について

SSID Aの暗号化方式がWEPの場合でも、WPS機能が開始されると、暗号化方式がWPAに変更されます。WPS接続を行う以前に、SSID AがWEPまたは暗号化なしの状態で接続していた無線LAN端末は暗号化方式をWPAに変更する必要があります。

#### 暗号化方式が「暗号化なし」の場合

SSID Aの暗号化方式が暗号化なしの場合は、WPA機能を開始できません。暗号化方式を暗号化なし以外に変更してからご利用ください。

#### セキュリティについてのご注意

通信の安全性を高めるために、暗号化方式はWEPよりもWPA/WPA2に設定することをお勧めします。ただし無線LAN端末によっては、この方式で接続できない場合がありますのでご注意ください。

# microUSBケーブルで接続する（Windows）

# WindowsパソコンとのUSB接続について

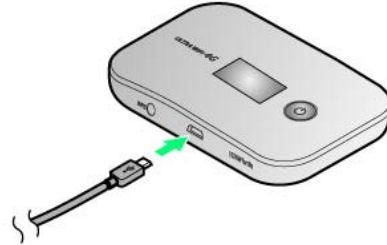
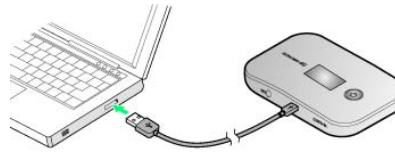
## 概要

本機は、電源を入れると自動的にインターネットに接続され、microUSBケーブルでパソコンと接続してデータ通信が行えます。また、102HW for Biz設定ツールを利用して、無線LANやインターネット接続の詳細設定を行うことができます。

・本機をmicroUSBケーブルでパソコンと接続し、「インターネットWi-Fi」を「オフ」に設定した場合は、無線LAN端末を最大10台接続できます。USB接続した本機とパソコンをアクセスポイントとしたデータ通信を行うことができます。

# Windowsパソコンへの取り付け／取り外し

## Windowsパソコンに本機を取り付ける

本機の外部接続端子にmicroUSBケーブルのmicroUSBプラグを接続する

microUSBケーブルのもう一方のプラグ（USBプラグ）をパソコンのUSBポートに接続する

 取り付けが完了します。

## Windows 8／Windows 7から本機を取り外す

データの送受信が終了していること、102HW for Biz設定ツールを終了していることを確認してから、取り外してください。

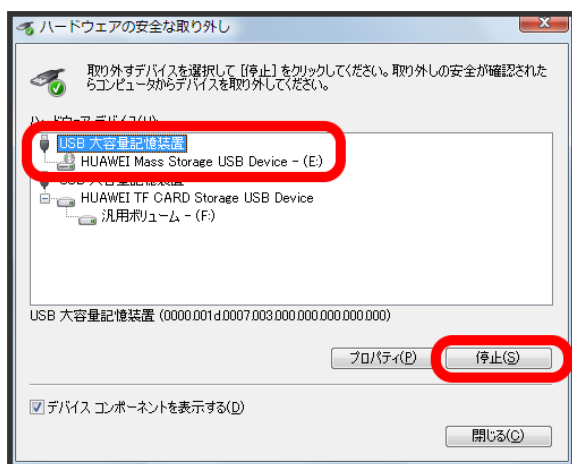
・本機にメモリカードが取り付けられていて、102HW for Biz設定ツールの「SDカード共有モード」が「USBアクセスのみ」の場合は、Windows標準の「メモリカードの安全な取り外し」を行ってください。
・Windows 8.Xをご利用の場合、Windows 8の画面や表示されるメッセージとは異なる場合があります。

## Windows Vistaから本機を取り外す

本機の「USB大容量記憶装置」について、安全な取り外しの操作を行います。

タスクトレイの をダブルクリックする

「ハードウェアの安全な取り外し」画面が表示されます。

USB大容量記憶装置 を選択 ➔ 停止

「ハードウェアデバイスの停止」画面が表示されます。

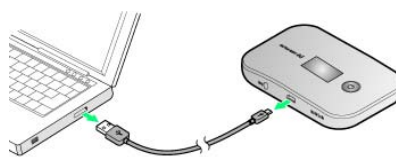
・画面左下の「デバイスコンポーネントを表示する」にチェックを付けると、「USB大容量記憶装置」の詳細を確認することができます。

デバイスがパソコンから安全に取り外し可能なことを確認して OK

「ハードウェアの安全な取り外し」画面に戻ります。

もう一つの「USB大容量記憶装置」について、操作 から を繰り返す

安全に取り外し可能なことが表示されます。

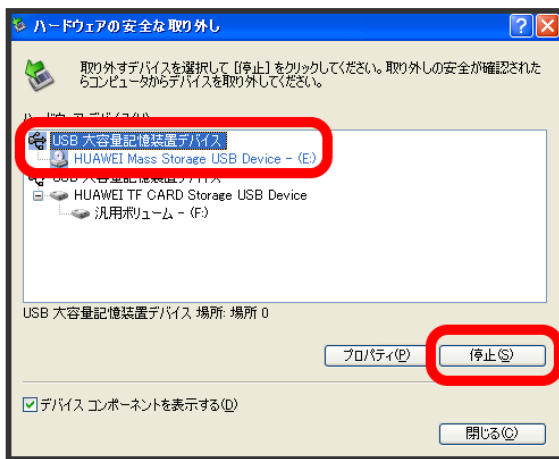
パソコンと本機からmicroUSBケーブルを取り外す

取り外しが完了します。

## Windows XPから本機を取り外す

本機の「USB大容量記憶装置デバイス」について、安全な取り外しの操作を行います。

タスクトレイの をダブルクリックする

「ハードウェアの安全な取り外し」画面が表示されます。

USB大容量記憶装置デバイス を選択  停止

「ハードウェアデバイスの停止」画面が表示されます。

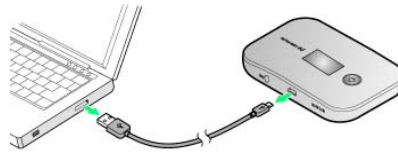
・画面左下の「デバイスコンポーネントを表示する」にチェックを付けると、「USB大容量記憶装置」の詳細を確認することができます。

デバイスがパソコンから安全に取り外し可能なことを確認して OK

「ハードウェアの安全な取り外し」画面に戻ります。

もう一つの「USB大容量記憶装置」について、操作 から を繰り返す

安全に取り外し可能なことが表示されます。

パソコンと本機からmicroUSBケーブルを取り外す

取り外しが完了します。

### 取り付け／取り外し時のご注意

#### 取り付け中のご注意

本機をWindowsパソコンに取り付けたままでスリープ機能、再起動を実行しないでください。正常に動作しない場合があります。それぞれの機能を実行する場合は、本機を取り外してから行ってください。

#### 取り外し時のご注意

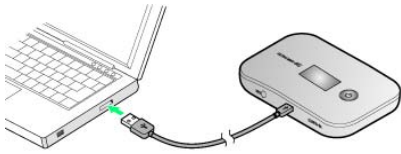
データの送受信が終了していることを確認のうえ、記載の方法で取り外しを行ってください。無理に取り外すと、故障の原因となったり、メモリカードに保存されているファイルが破損したりするおそれがあります。

# Windowsパソコンへのセットアップ

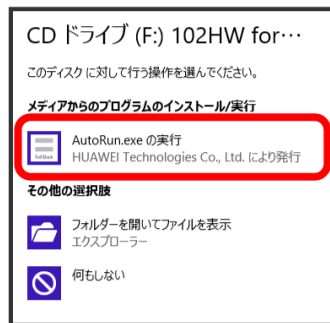
## Windows 8にドライバをインストールする

パソコンを起動し、本機の電源を入れた状態で実行します。

- 本機のドライバは、Windowsストア対応アプリではありません。そのため、インストール／アンインストールはデスクトップ画面で実行されます。また、インストール後のショートカットアイコンは、デスクトップ画面にのみ表示されます。
- Windows 8.Xをご利用の場合、Windows 8の画面や表示されるメッセージとは異なる場合があります。

本機をパソコンに接続する

「102HW for Biz」をタップ（マウスの場合はクリック）

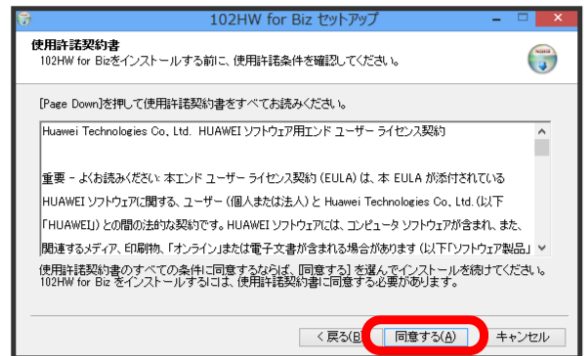
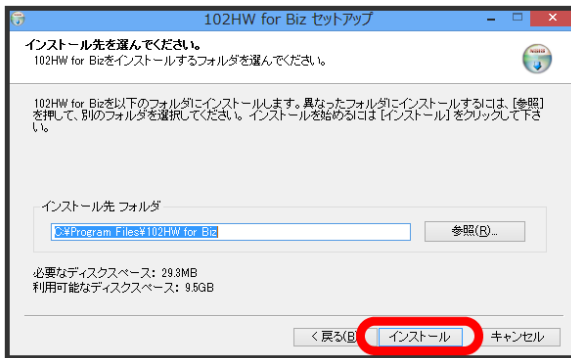
CD ドライブ (F:) 102HW for Biz
タップして、このディスク に対して行う操作を選んでください。

Autorun.exeの実行

- 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら「はい」をタップまたはクリックします。

「Japanese（日本語）」を選択して OK

次へ

同意する

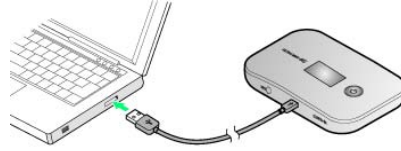
microUSBケーブルで接続する（Windows）

インストール先を選択して インストール

インストールが始まります。

完了

デスクトップ画面に「102HW for Biz」ショートカットアイコンが表示されたら、インストール完了です。

## Windows 7にドライバをインストールする

パソコンを起動し、本機の電源を入れた状態で実行します。

本機をパソコンに接続する

AutoRun.exeの実行

・「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら「はい」をクリックします。

「Japanese（日本語）」を選択して OK

**4**

次へ

**5**

同意する

**6**

インストール先を選択して インストール

インストールが始まります。

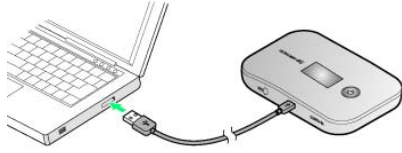
**7**

完了

デスクトップに「102HW for Biz」ショートカットアイコンが表示されたら、インストール完了です。

## Windows Vistaにドライバをインストールする

パソコンを起動し、本機の電源を入れた状態で実行します。

本機をパソコンに接続する

AutoRun.exeの実行

・「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら「続行」をクリックします。

「Japanese（日本語）」を選択して OK

次へ

同意する

インストール先を選択して インストール

インストールが始まります。

7

完了

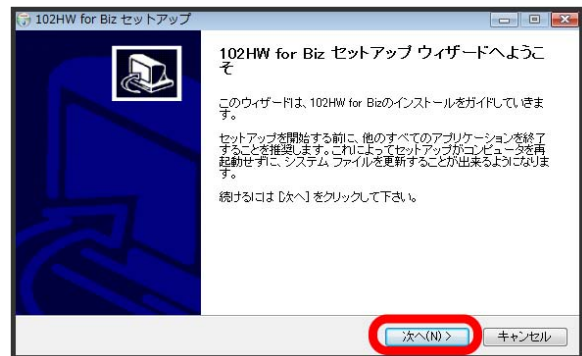
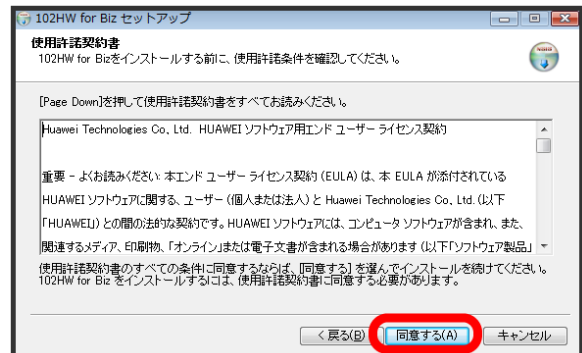
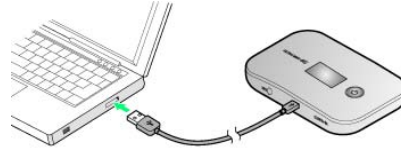
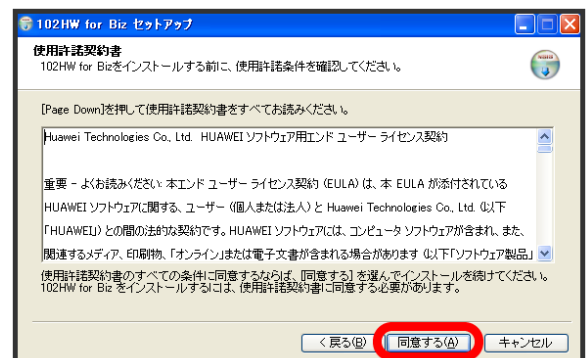
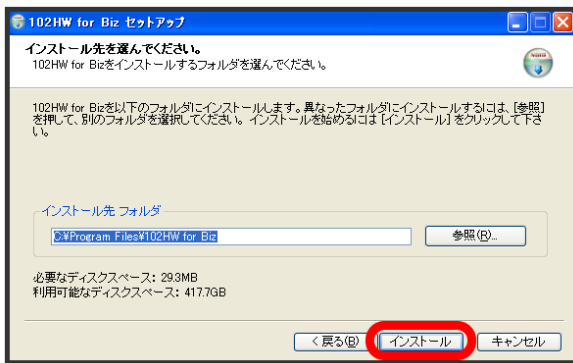
デスクトップに「102HW for Biz」ショートカットアイコンが表示されたら、インストール完了です。

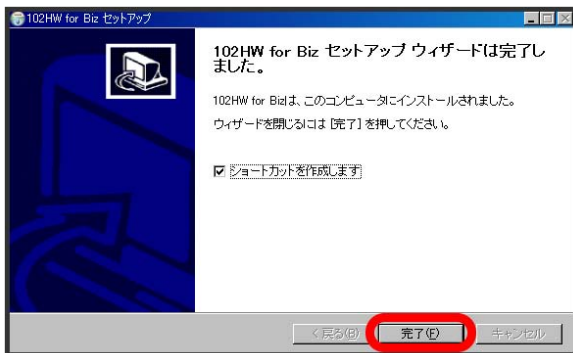
## Windows XPにドライバをインストールする

パソコンを起動し、本機の電源を入れた状態で実行します。

本機をパソコンに接続する

「Japanese（日本語）」を選択して OK

次へ

同意する

インストール先を選択して インストール

インストールが始まります。

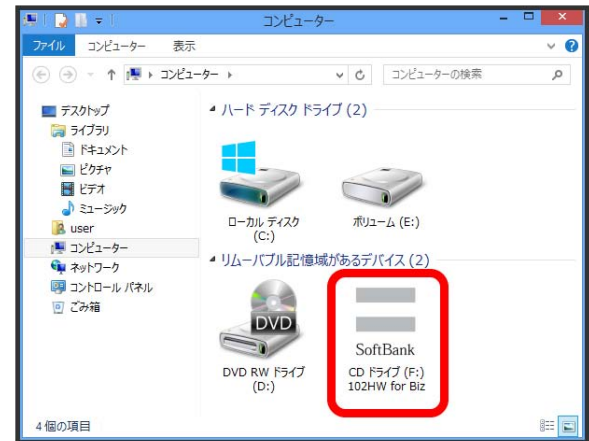
完了

デスクトップに「102HW for Biz」ショートカットアイコンが表示されたら、インストール完了です。

## Windows 8に手動でドライバをインストールする

本機を接続してもインストーラーが自動起動しない場合は、下記の手順をお試しください。

- 本機のドライバは、Windowsストア対応アプリではありません。そのため、インストール／アンインストールはデスクトップ画面で実行されます。また、インストール後のショートカットアイコンは、デスクトップ画面にのみ表示されます。
- Windows 8.Xをご利用の場合、Windows 8の画面や表示されるメッセージとは異なる場合があります。

デスクトップ画面の右端からスワイプ（マウスの場合は画面右上をポイント） ➔ チャームで 🔍 ➔ アプリ ➔ コンピューター

「102HW for Biz」をダブルタップ（マウスの場合はダブルクリック）

- 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら「はい」をタップまたはクリックします。

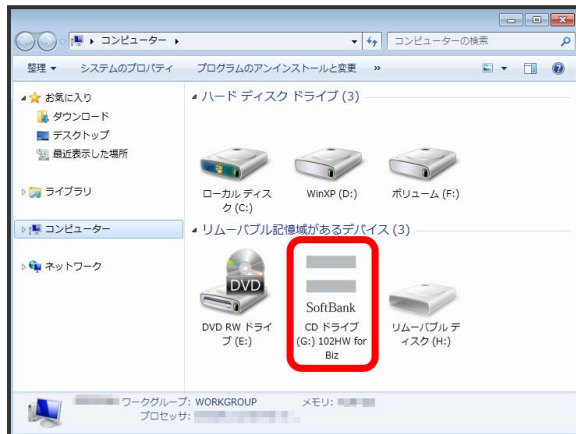
「 Windows 8にドライバをインストールする 」操作 以降の操作を行う

デスクトップ画面に「102HW for Biz」ショートカットアイコンが表示されたら、インストール完了です。

## Windows 7に手動でドライバをインストールする

本機を接続してもインストーラーが自動起動しない場合は、下記の手順をお試しください。

「102HW for Biz」をダブルクリックする

・「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら「はい」をクリックします。

「 Windows 7にドライバをインストールする 」操作 以降の操作を行う

デスクトップに「102HW for Biz」ショートカットアイコンが表示されたら、インストール完了です。

## Windows Vistaに手動でドライバをインストールする

本機を接続してもインストーラーが自動起動しない場合は、下記の手順をお試しください。

「102HW for Biz」をダブルクリックする

・「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら「続行」をクリックします。

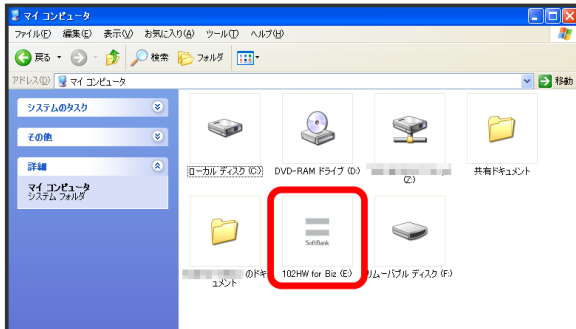
「 Windows Vistaにドライバをインストールする 」操作 以降の操作を行う

デスクトップに「102HW for Biz」ショートカットアイコンが表示されたら、インストール完了です。

## Windows XPに手動でドライバをインストールする

本機を接続してもインストーラーが自動起動しない場合は、下記の手順をお試しください。

「102HW for Biz」をダブルクリックする

「 Windows XPにドライバをインストールする 」操作 2 以降の操作を行う

デスクトップに「102HW for Biz」ショートカットアイコンが表示されたら、インストール完了です。

## Windows 8からドライバをアンインストールする

パソコンから本機を取り外してから実行します。

・本機のドライバは、Windowsストア対応アプリではありません。そのため、インストール／アンインストールはデスクトップ画面で実行されます。
・Windows 8.Xをご利用の場合、Windows 8の画面や表示されるメッセージとは異なる場合があります。

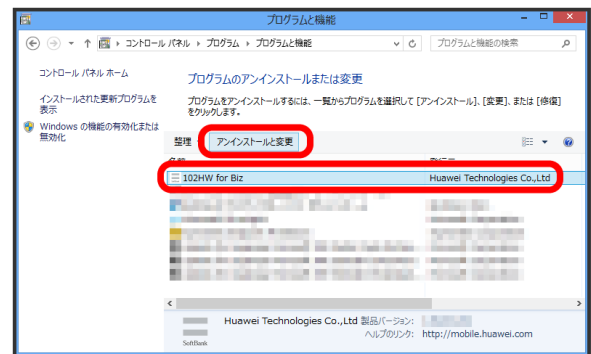
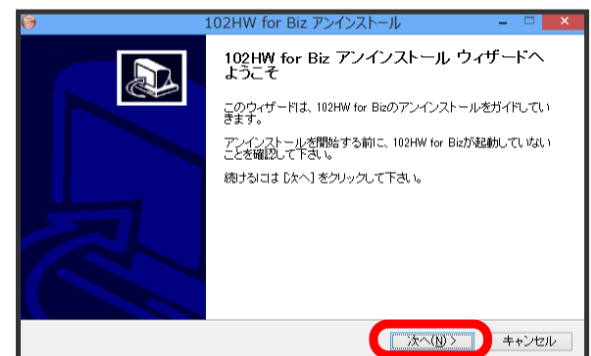
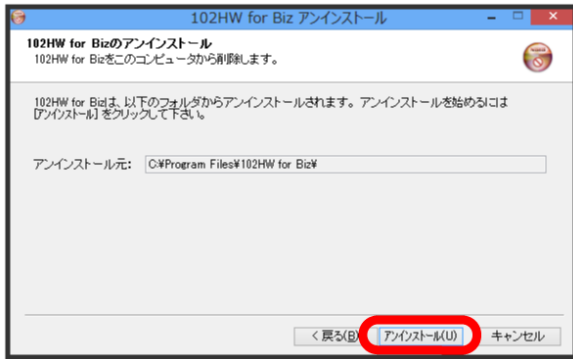
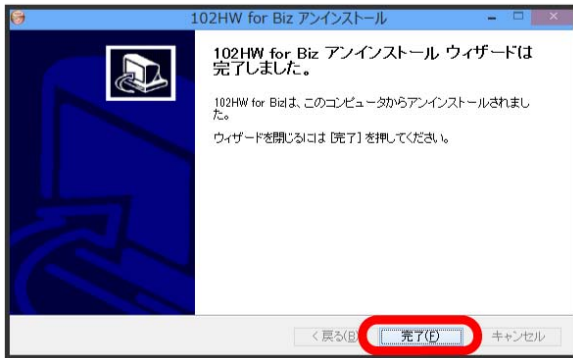
デスクトップ画面の右端からスワイプ（マウスの場合は画面右上をポイント） → チャームで ⚙ → コントロールパネル → プログラムのアンインストール

「102HW for Biz」を選択 → アンインストールと変更

次へ

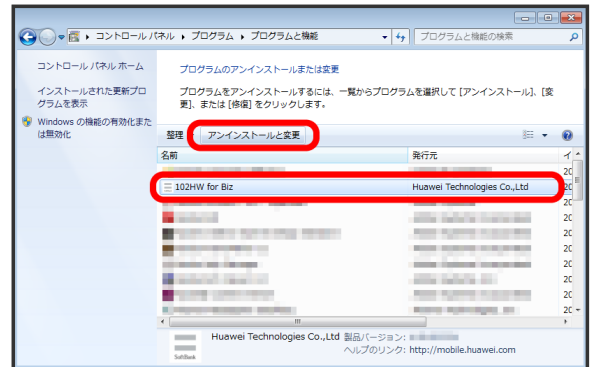
**4**

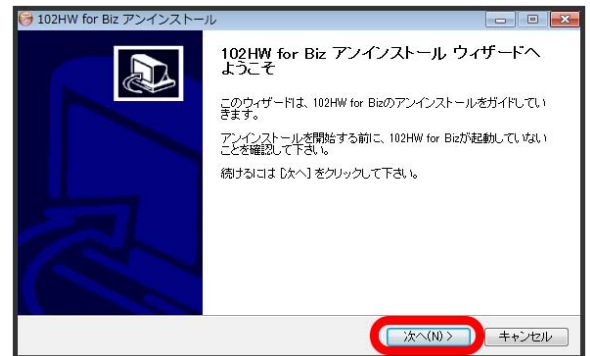
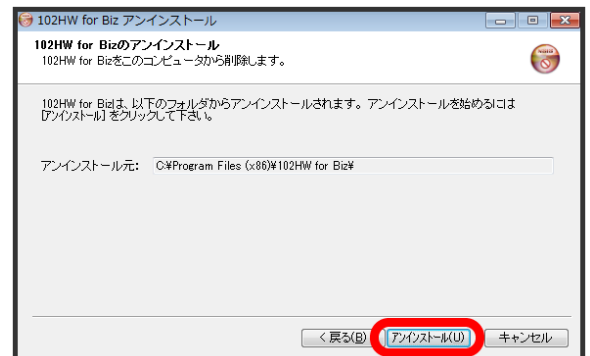
アンインストール先を確認して アンインストール

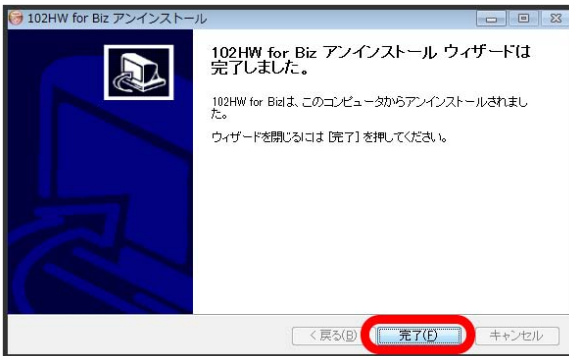
**5**

完了

デスクトップ画面から「102HW for Biz」ショートカットアイコンが消去されたら、アンインストール完了です。

## Windows 7からドライバをアンインストールする

スタート → コントロールパネル → プログラムのアンインストール

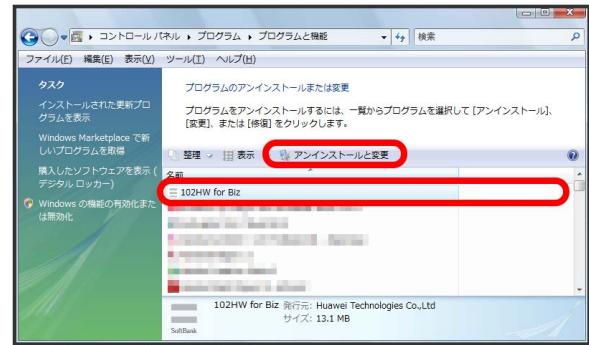
「102HW for Biz」を選択 → アンインストールと変更

・「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら「はい」をクリックします。

次へ

アンインストール先を確認して アンインストール

アンインストールが実行されます。

完了

デスクトップから「102HW for Biz」ショートカットアイコンが消去されたら、アンインストール完了です。

## Windows Vistaからドライバをアンインストールする

スタート → コントロールパネル → プログラムのアンインストール

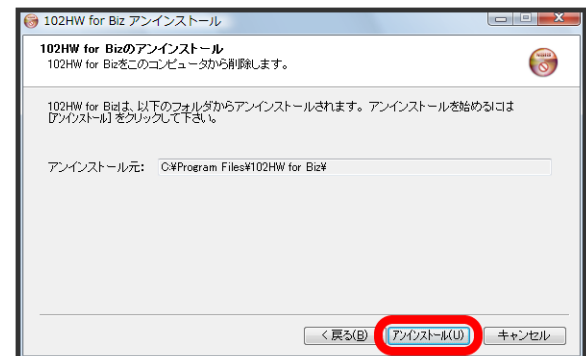
「102HW for Biz」を選択 → アンインストールと変更

・「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら「続行」をクリックします。

次へ

アンインストール先を確認して アンインストール

アンインストールが実行されます。

5

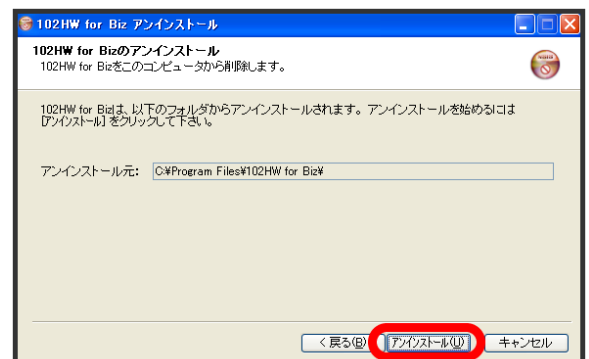
完了

デスクトップから「102HW for Biz」ショートカットアイコンが消去されたら、アンインストール完了です。

## Windows XPからドライバをアンインストールする

1

スタート ➔ コントロールパネル ➔ プログラムの追加と削除

2

「102HW for Biz」を選択 ➔ 変更と削除

3

次へ

4

アンインストール先を確認して アンインストール

アンインストールが実行されます。

完了

デスクトップから「102HW for Biz」ショートカットアイコンが消去されたら、アンインストール完了です。

## セットアップ時のご注意

### ドライバのインストール／アンインストールについて

管理者権限（Administrator）でWindowsにログインして操作してください。

### ドライバインストール中の取り外しについて

インストール中に本機を取り外さないでください。インストールが正常に行われない、または、システムがダウンしたり、そのほかの異常を起こしたりするおそれがあります。

# microUSBケーブルで接続する（Mac）

# MacとのUSB接続について

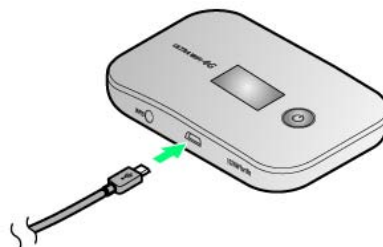
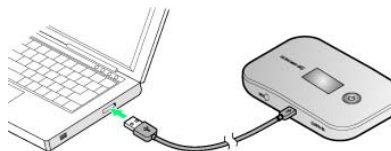
## 概要

本機は、電源を入れると自動的にインターネットに接続され、microUSBケーブルでMacと接続してデータ通信が行えます。また、102HW for Biz設定ツールを利用して、無線LANやインターネット接続の詳細設定を行うことができます。

・本機をmicroUSBケーブルでMacと接続し、「インターネットWi-Fi」を「オフ」に設定した場合は、無線LAN端末を最大10台接続できます。USB接続した本機とMacをアクセスポイントとしたデータ通信を行うことができます。

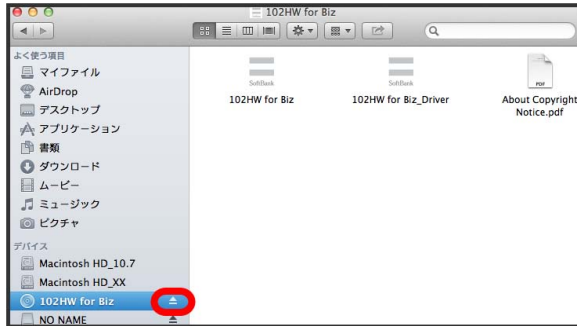
# Macへの取り付け／取り外し

## Macに本機を取り付ける

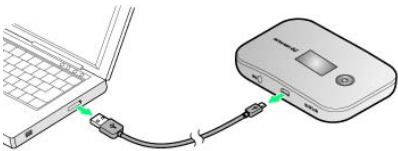
本機の外部接続端子にmicroUSBケーブルのmicroUSBプラグを接続する

microUSBケーブルのもう一方のプラグ（USBプラグ）をMacのUSBポートに接続する

取り付けが完了します。

## Macから本機を取り外す

Finder

「デバイス」の一覧で本機の取り出しアイコンをクリックする

本機の取り外しが可能になります。

- デスクトップにある本機のアイコンをゴミ箱へドラッグしても取り出せます。
- 本機にメモリカードが取り付けられていて、102HW for Biz設定ツールの「SDカード共有モード」が「USBアクセスのみ」の場合は、「デバイス」の一覧でメモリカードの取り出しアイコンをクリックして取り出します。

Macと本機からmicroUSBケーブルを取り外す

取り外しが完了します。

### 取り付け／取り外し時のご注意

**取り付け中のご注意**

本機をMacに取り付けたままでスリープ機能、再起動を実行しないでください。正常に動作しない場合があります。それぞれの機能を実行する場合は、本機を取り外してから行ってください。

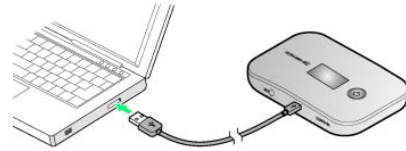
**取り外し時のご注意**

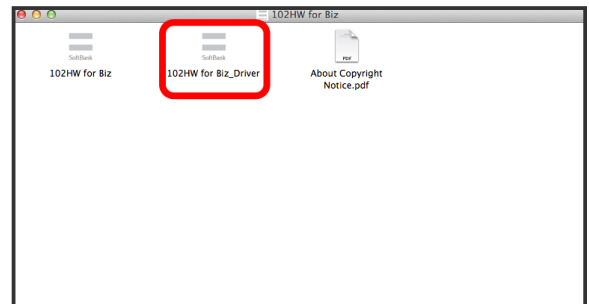
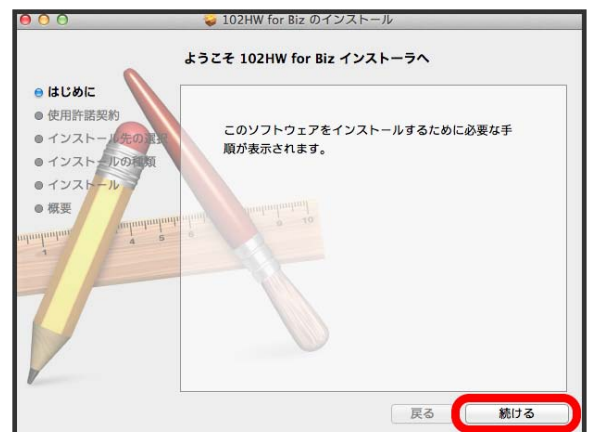
データの送受信が終了していることを確認のうえ、記載の方法で取り外しを行ってください。無理に取り外すと、故障の原因となったり、メモリカードに保存されているファイルが破損したりするおそれがあります。

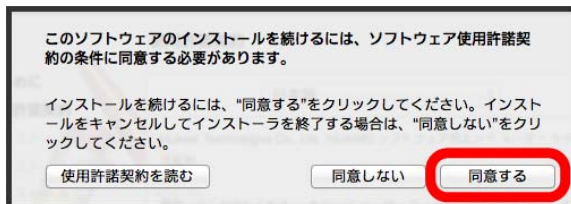
# Macへのセットアップ

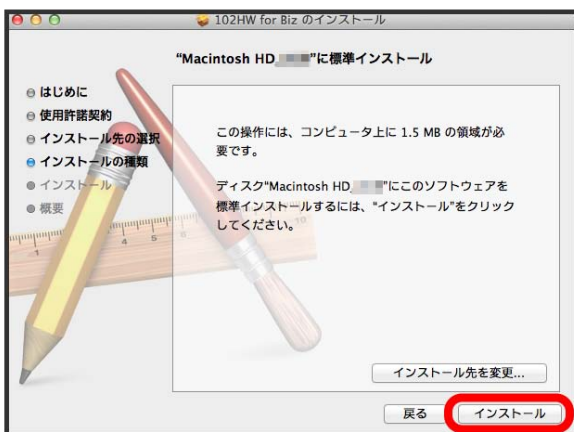
## Macにドライバをインストールする

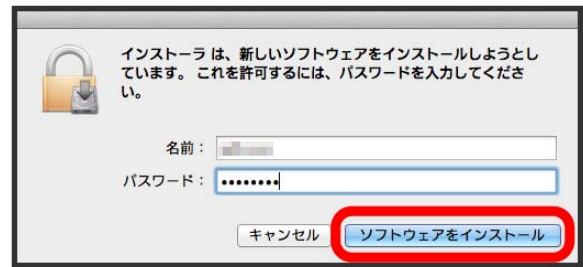
Macを起動し、本機の電源を入れた状態で実行します。

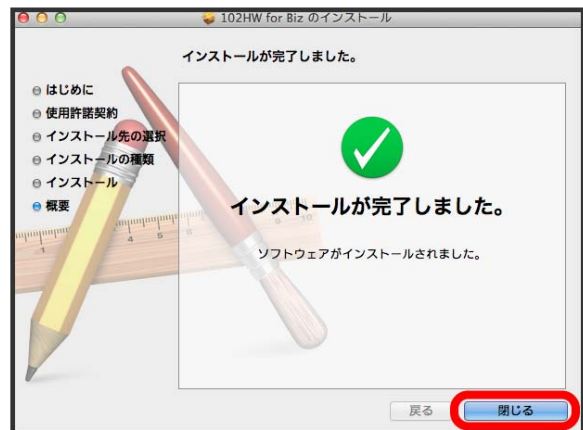
本機をMacに接続します。

デスクトップにショートカットアイコンが表示され、「102HW for Biz」フォルダが自動的に開きます。

「102HW for Biz_Driver」をダブルクリックする

続ける

続ける

同意する

・「インストール先の選択」の画面が表示された場合は、インストール先を選択して、 続ける をクリックします。

「"Macintosh HD"に標準インストール」の画面が表示されたら インストール

・「Macintosh HD」はハードディスクの名称です。ご使用の環境によって表示される名称は異なります。

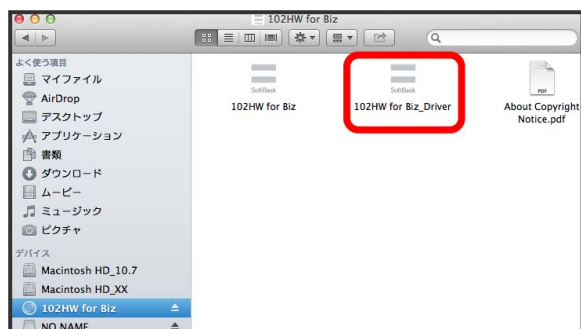
Macの名前（ユーザ名）とパスワードを入力して、 ソフトウェアをインストール

インストールが始まります。

閉じる

Dockに「102HW for Biz」ショートカットアイコンが表示されたらインストール完了です。

## Macに手動でドライバをインストールする

本機を接続してもインストーラーが自動起動しない場合は、下記の手順をお試しください。

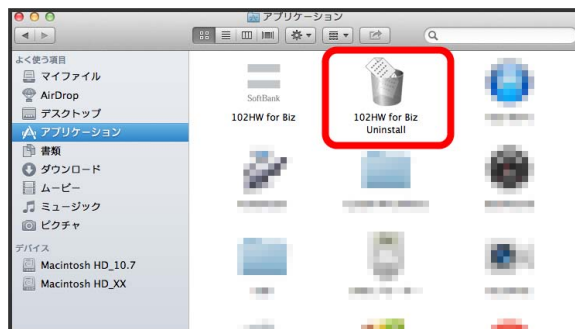
  デバイス 「102HW for Biz」をクリックする

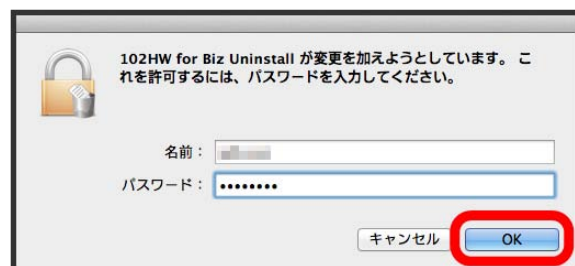
「102HW for Biz_Driver」をダブルクリックする

「 Macにドライバをインストールする 」操作 3 以降の操作を行う

Dockに「102HW for Biz」ショートカットアイコンが表示されたらインストール完了です。

## Macからドライバをアンインストールする

アプリケーションの画面を表示する

「102HW for Biz Uninstall」アイコンをダブルクリックする

OK

Macの名前（ユーザ名）とパスワードを入力して OK

OK

Dockから「102HW for Biz」ショートカットアイコンが消去されたらアンインストール完了です。

## セットアップ時のご注意

### ドライバのインストール／アンインストールについて

管理者権限（Administrator）でMacにログインして操作してください。

### ドライバインストール中の取り外しについて

インストール中に本機を取り外さないでください。インストールが正常に行われない、または、システムがダウンしたり、そのほかの異常を起こしたりするおそれがあります。

# 詳細設定を行う

# 102HW for Biz設定ツールの概要

本機に無線LANまたはmicroUSBケーブルで接続したパソコンやモバイル機器で、対応するWebブラウザを使用し、本機の各種機能を設定することができます。

## 102HW for Biz設定ツールを起動する

画面表示や手順は、102HW for Biz設定ツールに対応するWebブラウザを搭載したパソコン（Windows 8）を例にして説明します。

パソコンまたは無線LAN端末を起動し、本機と無線LANまたはUSB接続する

Webブラウザを起動し、アドレス入力欄に「web.setting」と入力する

102HW for Biz設定ツールホーム画面が表示されます。

・必要に応じて「言語」欄のリストから画面表示に使用する言語を選択してください。

102HW for Biz設定ツールホーム画面でメインメニューの 設定

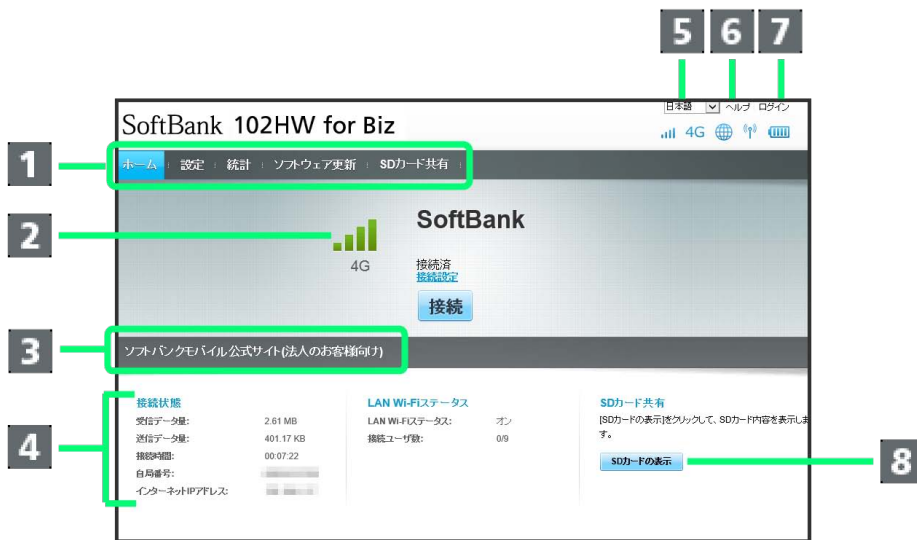
ログイン画面が表示されます。

パスワードを入力 ➔ ログイン

102HW for Biz設定ツールにログインすると、102HW for Biz設定ツールホーム画面が表示されます。

・お買い上げ時の設定ツールのログインパスワードは、「admin」に設定されています。
・102HW for Biz設定ツールは、複数の機器で同時に表示／設定することはできません。

# 102HW for Biz設定ツール画面について

## 102HW for Biz設定ツールホーム画面の見かた

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 1 メインメニュー | メニューを切り替えます。 |
| 2 接続状態表示 | 接続先名、ネットワークの種類など現在の接続状態を表示します。 |
| 3 ソフトバンクモバイルの公式ホームページ | ソフトバンクのホームページを表示します。 |
| 4 接続ステータス表示 | インターネット接続、無線LAN接続の接続ステータスを表示します。 |
| 5 言語設定 | 102HW for Biz設定ツールの表示言語を切り替えます。 |
| 6 ヘルプ | ソフトバンクのサポート情報ページを表示します。 |
| 7 ログイン／ログアウト | 102HW for Biz設定ツールへのログイン／ログアウトを選択します。 |
| 8 SDカードの表示 | 共有設定したメモリカードの内容を表示します。 |

## 102HW for Biz設定ツール設定画面の見かた

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 1 メニューリスト | サブメニューを表示します。メニュー項目をクリックして設定ページを切り替えます。 |
| 2 設定ページ | 各機能の設定／情報画面が表示されます。 |
| 3 ソフトウェア更新通知 | ：更新可能なソフトウェアが検出されたときに表示されます。 |
| 4 ネットワークの受信レベルと種類 | モバイルネットワーク<br>（強）⇔ （弱）⇔ 圏外 （圏外）<br>4G ：SoftBank 4G接続中<br>3G ：SoftBank 3G接続中（ULTRA SPEED含む）<br>インターネットWi-Fi<br>：インターネットWi-Fi接続中（ソフトバンクWi-Fiスポット含む）<br>（強）⇔ （弱） |
| 5 インターネット接続状態表示 | ：インターネット接続中に表示されます。インターネット接続を切断すると非表示になります。 |
| 6 無線LAN接続状態表示 | ：無線LANの接続状態（数字は接続端末とインターネットWi-Fiの合計台数） |
| 7 電池残量表示 | （多い）⇒ （少ない）<br>（点滅）：電池残量がほとんど残っていませんので、直ちに充電してください |

# クイック設定

102HW for Biz設定ツールのメインメニューで 設定 を選択すると、クイック設定ウィザードが表示されます。クイック設定では、本機のご利用にあたり、主要な設定項目を簡単に設定することができます。設定した内容は、設定完了後に修正することも可能です。

## クイック設定で設定する

メインメニューで 設定

クイック設定ウィザード画面が表示されます。

次へ

LAN Wi-Fi設定の構成について確認し、 次へ

LAN Wi-Fiの設定が完了したら 次へ

・設定項目や操作については、「無線LANの基本設定（SSID A）」を参照してください。

詳細設定を行う

インターネットWi-Fiの設定が完了したら 次へ

・設定項目や操作については、「インターネットWi-Fi」を参照してください。

設定内容を確認し、 完了

基本的なネットワーク構成が完了します。

# モバイルネットワーク設定

本機で4G／3Gネットワークに接続するうえでの詳細設定を行います。

## PINコードについて

PIN（Personal Identification Number）は、不正ユーザーがUSIMカードを使用することを防ぐために使われるコードです。PIN認証のオン／オフの設定、PINコードの認証や変更などを行うことができます。

・一度PINコード認証をオンに設定すると、パソコンと接続してPINコードを入力しないと本機を使用することはできません。ご注意ください。
・PINコードを3回連続で間違えるとPINロック状態になります。その場合PINロック解除コード（PUKコード）が必要になります。PINロック解除コード（PUKコード）については、お問い合わせ先までお問い合わせください。またPINロック解除コード（PUKコード）を10回連続で間違えると、完全ロック状態となります。完全ロック状態となった場合は所定の手続きが必要になります。お問い合わせ先までご連絡ください。

## PIN認証の設定

メニューリストで モバイルネットワーク設定 ➔ PINコード

PINコードを入力 ➔ 適用

次回パソコンに接続時からPIN認証を求められます。

## PIN認証の解除

メニューリストで モバイルネットワーク設定 → PINコード

PIN認証を オフ → PINコードを入力 → 適用

PIN認証が解除されます。

## PINの変更

メニューリストで モバイルネットワーク設定 ➔ PINコード

PIN認証を 変更 ➔ 各項目を設定 ➔ 適用

PINが変更されます。

詳細設定を行う

## プロファイルの作成

メニューリストで モバイルネットワーク設定 → プロファイル管理

新規プロファイル

各項目を設定 ➔ 保存

作成したプロファイルがプロファイル名に表示されます。

## プロファイルの編集

メニューリストで モバイルネットワーク設定 ➔ プロファイル管理

プロファイル名を選択 ➔ 編集

各項目を入力 ➔ 保存

編集した内容が表示されます。

## プロファイルの削除

作成済みのプロファイルを削除します。お買い上げ時に登録されているプロファイルは削除できません。

メニューリストで モバイルネットワーク設定 → プロファイル管理

プロファイル名を選択 → 削除

OK

プロファイルが削除されます。

## ネットワークの優先モード変更

・ネットワーク優先モードの初期値は「4G/3G」、バンドは「全てのバンド」です。なお、海外では「3G only」になります。

メニューリストで モバイルネットワーク設定 → モバイルネットワーク設定

2

ネットワークの優先モードを変更 → 周波数帯域（バンド）を選択 → 適用

ネットワークの優先モード、周波数帯域（バンド）が変更されます。

・優先モードが「4Gのみ」のときは周波数帯域（バンド）は固定のため選択できません。

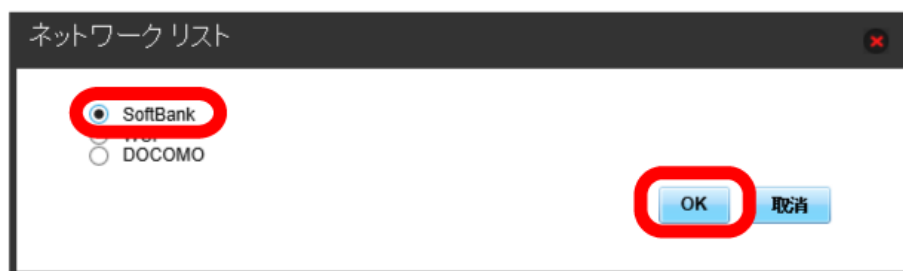
## ネットワーク検索のモード変更

メニューリストで モバイルネットワーク設定 ➔ モバイルネットワーク設定

ネットワーク検索のモードを変更 ➔ 適用

ネットワークを再検索します。

・「自動」にすると、自動的にネットワークに接続されます。次の手順は不要です。

ネットワークリストで接続するネットワークを選択 ➔ OK

ネットワーク登録されます。

・「手動」にすると、接続中のネットワークで圏外になったときなどには、再接続先を手動で選択する必要があります。

# インターネットWi-Fi

Wi-Fiでインターネット接続をすることを、インターネットWi-Fiといいます。

## インターネットWi-Fiの設定

インターネットWi-Fiをオンにすると、会社などの無線LANルーターや公衆無線LANサービスを利用してWi-Fiでインターネット接続できます。

メニューリストで インターネットWi-Fi

インターネットWi-Fiを オン ➔ 接続するアクセスポイントにカーソルを合わせ 接続

パスワードを入力 ➔ 接続

選択したアクセスポイントに接続されます。

## ソフトバンクWi-Fiスポットの設定

ソフトバンクWi-Fiスポットをオンにすると、ソフトバンクWi-Fiスポットのサービスエリアに入ったときに自動で接続されます。

・ソフトバンクWi-Fiスポット用パスワードは、ご契約時に設定した4桁の暗証番号です。

メニューリストで インターネットWi-Fi

インターネットWi-Fiを オン ➔ ソフトバンクWi-Fiスポットを オン ➔ ソフトバンクWi-Fiスポット用パスワードを入力 ➔ 保存

ソフトバンクWi-Fiスポット設定が設定されます。

# LAN Wi-Fi

## 無線LANの基本設定（SSID A）

SSID Aについて無線LANの基本的な設定を行います。
ここで設定する項目は次の通りです。

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 液晶画面にパスワードを表示する | チェックを付けると、WPSボタンを続けて2回押したときに本体ディスプレイに現在接続中のSSIDのパスワードを表示します。 |
| SSID | ネットワーク名（SSID）を設定します。 |
| 認証方式 | 認証方式を設定します。 |
| 暗号化方式 | 暗号化方式を設定します。 |
| WPAセキュリティーキー | 「認証方式」で「WPA-PSK」「WPA2-PSK」「WPA/WPA2-PSK」のいずれかを選択しているときに表示されます。セキュリティキーを入力します。 |
| ネットワークキー1～4 | 「認証方式」で「自動」「Open」「Shared Key」のいずれかを選択し、「暗号化方式」が「WEP」のときに表示されます。WEPキーを入力します。 |
| 現在のネットワークキー | 既定値のWEPキーを設定します。 |
| APアイソレーション | LAN内の端末間の通信を許可するかどうかを設定します。 |
| SSIDステルス | SSID情報が表示されないように設定します。 |

メニューリストで LAN Wi-Fi ➔ LAN Wi-Fi基本設定

各項目を設定 ➔ 適用

SSID AのLAN Wi-Fi基本設定が設定されます。

## 無線LANの基本設定（SSID B）

SSID Bについて無線LANの基本的な設定を行います。

・SSID Bを利用するには、インターネットWi-Fiをオフにする必要があります。インターネット接続はモバイルネットワークをご利用ください。
・SSID BはWPA/WPA2の暗号化方式には対応していません。
ここで設定する項目は次の通りです。

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| SSID | ネットワーク名（SSID）を設定します。 |
| 認証方式 | 認証方式を設定します。 |
| 暗号化方式 | 暗号化方式を設定します。 |
| ネットワークキー1～4 | 「認証方式」で「自動」「Open」「Shared Key」のいずれかを選択し、「暗号化方式」が「WEP」のときに表示されます。WEPキーを入力します。 |
| 現在のネットワークキー | 既定値のWEPキーを設定します。 |
| APアイソレーション | LAN内の端末間の通信を許可するかどうかを設定します。 |
| SSIDステルス | SSID情報が表示されないように設定します。 |

メニューリストで LAN Wi-Fi → LAN Wi-Fi基本設定

SSID Bを オン → 各項目を設定 → 適用

SSID BのLAN Wi-Fi基本設定が設定されます。

## 無線LANの詳細設定

ここで設定できる項目は次の通りです。

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 国 | 無線LANを使用する国名を設定します。 |
| チャネル | 無線LANのチャネルを設定します。 |
| 通信規格 | 無線LANの動作モードを設定します。 |
| スタンバイ | 外部電源に接続されていないときに無線LANを自動的に切断するかどうかを設定します。 |
| スタンバイ遷移タイマー（分） | スタンバイが「オン」のときに無線LANを自動的に切断する時間を設定します。 |
| 周波数幅 | 周波数帯域幅を設定します。 |

メニューリストで LAN Wi-Fi ➔ LAN Wi-Fi詳細設定

各項目を設定 ➔ 適用

LAN Wi-Fi詳細設定が設定されます。

## MACアドレスフィルタの設定

無線LAN端末のMACアドレスを登録して無線LAN接続の許可／禁止を設定し、セキュリティ機能を強化できます。

・無線LANの基本設定（SSID B）でSSID Bをオンにしている場合は、MACアドレスフィルタでもSSID Bについて設定できます。

メニューリストで LAN Wi-Fi ➔ LAN Wi-Fi MACフィルタ

LAN Wi-Fi MACフィルタで 許可 ／ 拒否 ➔ MACアドレスを入力 ➔ 適用

・入力したMACアドレスを削除した場合も同様に操作します。

OK

設定されます。

## MACアドレスフィルタの解除

メニューリストで LAN Wi-Fi → LAN Wi-Fi MACフィルタ

LAN Wi-Fi MACフィルタで オフ → 適用

OK

設定されます。

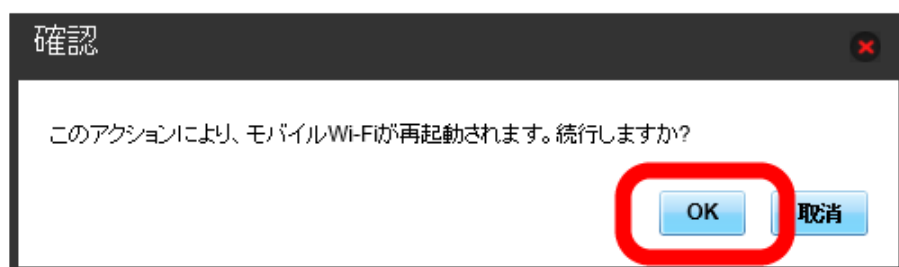
## DHCP

LAN内の端末にIPアドレスを割り当てる機能を設定します。
ここで設定できる項目は次の通りです。

| 項目 | 説明 |
| --- | --- |
| IPアドレス | 本機のプライベートIPアドレスを設定します。 |
| サブネットマスク | サブネットマスクを設定します。 |
| DHCPサーバー | DHCP機能を利用するかどうかを設定します。 |
| 開始IPアドレス | 無線LAN端末に割り当てる最小のIPアドレスを設定します。 |
| 終了IPアドレス | 無線LAN端末に割り当てる最大のIPアドレスを設定します。 |
| DHCPリース時間（秒） | IPアドレスのリース時間を設定します。 |

メニューリストで LAN Wi-Fi ➔ DHCP

各項目を設定 ➔ 適用

OK

本機が再起動されると、DHCPが設定されます。

# ルーター設定

## ファイアウォールスイッチ

ファイアウォール機能に関する詳細設定をします。
ここで設定できる項目は次の通りです。

| 項目 | 説明 |
| --- | --- |
| ファイアウォール | ファイアウォール機能を使用するかどうかを設定します。 |
| IPアドレスフィルタリング | IPアドレスフィルタ機能を使用するかどうかを設定します。 |
| WAN側ポートPING応答 | WAN側からのPingに応答するかどうかを設定します。 |

メニューリストで ルーター設定 → ファイアウォールスイッチ

各項目を設定 → 適用

設定されます。

## IPアドレスフィルタの追加

設定したルールに従い、インターネットから送られてきた通信の送信元と送信先のアドレスからファイアウォールを通過させるか判断します。
ここで設定できる項目は次の通りです。

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| LAN IPアドレス | ルールを適用する送信元端末のIPアドレスを設定します。 |
| LANポート | ルールを適用する送信元端末のポート番号を設定します。 |
| WAN IPアドレス | ルールを適用する送信先端末のIPアドレスを設定します。 |
| WANポート | ルールを適用する送信先端末のポート番号を設定します。 |
| プロトコル | ルールを適用するプロトコルを選択します。 |
| ステータス | ルールを適用するかどうかを設定します。 |
| オプション | ルールを登録したり削除したりします。 |

メニューリストで ルーター設定 ➔ LAN IPフィルタ

・IPアドレスフィルタを有効にする旨のメッセージが表示された場合は、ファイアウォールスイッチで「IPアドレスフィルタリング」を有効にしてから操作してください。

追加

各項目を入力 ➔ OK

適用

OK

設定されます。

## IPアドレスフィルタの削除

メニューリストで ルーター設定 ➔ LAN IPフィルタ

 削除されます。

適用

OK

削除が適用されます。

## ポートマッピングの追加

インターネットからLAN内の特定の端末にアクセスできるように仮想サーバーを設定します。
ここで設定できる項目は次の通りです。

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 名前 | 仮想サーバーの名前を設定します。 |
| WANポート | 送信元ポート番号を設定します。 |
| LAN IPアドレス | サーバとして公開するLAN側端末のIPアドレスを設定します。 |
| LANポート | サーバとして公開するLAN側の特定の端末に、パケットを転送する際の送信先ポート番号を設定します。 |
| プロトコル | ルールを適用するプロトコルを選択します。 |
| ステータス | ルールを適用するかどうかを設定します。 |
| オプション | ルールを登録したり削除したりします。 |

メニューリストで ルーター設定 ➔ ポートマッピング

追加

各項目を入力 ➔ OK

適用

OK

 ポートマッピングが設定されます。

## ポートマッピングの削除

メニューリストで ルーター設定 ➔ ポートマッピング

削除

OK

 削除されます。

適用

OK

削除が適用されます。

## 特殊なアプリケーションの追加

テレビ電話システムなど、特殊なアプリケーションが利用できるようにします。
ここで設定できる項目は次の通りです。

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 名前 | 名前を設定します。 |
| ステータス | ルールを適用するかどうかを設定します。 |
| 起動ポート | 制御データ用のポート番号を設定します。 |
| 起動プロトコル | 制御データ用のプロトコルを選択します。 |
| オープンプロトコル | データ転送用のプロトコルを選択します。 |
| オープンポート | データ転送用のポート番号を設定します。 |
| オプション | ルールを登録したり削除したりします。 |

メニューリストで ルーター設定 ➔ 特殊なアプリケーション

2

追加

各項目を入力 ➡ OK

適用

OK

設定されます。

## 特殊なアプリケーションの削除

メニューリストで ルーター設定 ➔ 特殊なアプリケーション

削除

OK

 削除されます。

適用

OK

削除が適用されます。

## DMZ

LAN内の特定の端末を、他の端末から隔離されたDMホストとして設定することができます。
ここで設定できる項目は次の通りです。

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| DMZ | DMZホストを設定するかどうかを選択します。 |
| DMZ IPアドレス | DMZホストのIPアドレスを設定します。 |

メニューリストで ルーター設定 ➔ DMZ

各項目を設定 ➔ 適用

設定されます。

## SIP ALG

SIPアプリケーションを使用してインターネット電話などのサービスを利用するときに設定します。
ここで設定できる項目は次の通りです。

| 項目 | 説明 |
| --- | --- |
| SIP ALGを有効にする[1] | SIP ALG機能を有効にするかどうかを選択します。 |
| SIPポート | SIPサービスプロバイダから指定されたポート番号を入力します。 |

1 SIP ALGは、本機と接続した端末でSIPアプリケーション（例：X-Lite、Yate、Sipdroid等）を利用する際に必要となります。SIPアプリケーションで正常に通話ができない場合は、「SIP ALG」のチェックを付ける／外す ➔ 適用 を実行後、SIPアプリケーションを再起動してください。

メニューリストで ルーター設定 ➔ SIP ALG

各項目を設定 ➔ 適用

設定されます。

## UPnP

UPnP対応の周辺機器、AV機器、電化製品、またはメッセンジャーソフトなどのUPnP対応アプリケーションを使用するときに設定します。
ここで設定できる項目は次の通りです。

| 項目 | 説明 |
| --- | --- |
| UPnP | UPnPを利用するかどうかを設定します。 |

1

メニューリストで ルーター設定 ➔ UPnP

2

設定されます。

## NAT

LAN内で利用しているプライベートIPアドレスをグローバルIPアドレスに変換して、インターネット接続することができます。

メニューリストで ルーター設定 ➔ NAT

Cone ／ Symmetric ➔ 適用

設定されます。

## VPNパススルー

VPNを構築している場合、LAN内の端末と外部のVPNクライアント間で通信が行えるようにします。
ここで設定できる項目は次の通りです。

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| VPNパススルー | VPNパススルー機能を有効にするかどうかを設定します。 |

メニューリストで ルーター設定 ➔ VPNパススルー

2

オン ／ オフ ➔ 適用

設定されます。

## 圏外通知

3G／4Gネットワーク圏外になったとき、Webブラウザに通知するかどうかを設定します。

・「オン」にすると、PCやスマートフォンのブラウザの画面にインターネット接続圏外でページの表示ができない旨が表示されます。

メニューリストで ルーター設定 → 圏外通知

設定されます。

# システム

## 本体情報

本機のデバイス情報を確認します。

メニューリストで システム ➔ 本体情報

本体の情報が表示されます。

## ログインパスワード変更

ログイン時に入力するパスワードを変更できます。

メニューリストで システム ➔ ログインパスワード変更

各項目を入力 ➔ 適用

102HW for Biz設定ツールホーム画面に戻ります。新しいパスワードが設定されます。

## 本体初期化

本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

・USIMカードおよびメモリカードの内容を除き、本体設定がすべてお買い上げ時の状態に戻りますので、ご注意ください。

メニューリストで システム ➔ 本体初期化

2

初期化

初期化されます。

## 再起動

本機を再起動します。

メニューリストで システム → 再起動

再起動

OK

本機が再起動されます。

# 統計を確認する

モバイルネットワークの接続時間や無線LANネットワークの接続状態を確認します。

## 統計を確認する

メインメニューの 統計

統計情報が表示されます。

・統計情報のクリア をクリックすると、モバイルネットワークの接続履歴が消去されます。

# ソフトウェア更新について

## ソフトウェア更新の実行

メインメニューの ソフトウェア更新

2

続行

今すぐ更新

OK

最新のソフトウェアに更新されます。

# メモリカードの情報について

本機に取り付けたメモリカードに保存されているファイルを、無線LANまたはUSB接続しているパソコンの102HW for Biz設定ツール上で確認することができます。

## メモリカードの共有を設定する

メモリカードの共有を設定します。
ここで設定できる項目は次の通りです。

| 項目 | 説明 |
| --- | --- |
| SDカード共有モード | メモリカードを共有する種類を設定します。<br>「Web共有モード」に設定すると、無線LANに接続されているパソコンでメモリカードを共有できます。 |
| アクセスタイプ | 「SDカード共有モード」が「Web共有モード」のとき、他のパソコンが操作できる範囲を設定します。 |
| 共有パス | 「SDカード共有モード」が「Web共有モード」のとき、共有を許可する範囲を設定します。 |

メインメニューで SDカード共有

・メモリカードの共有を設定するには、102HW for Biz設定ツールへのログインが必要です。ログインしていない状態でもSDカード共有画面を表示できますが、設定を変更する場合は画面右上の「ログイン」をクリックしてログインしてください。

各項目を設定 ➔ 適用

共有フォルダのリストが表示されます。

## メモリカードの情報を確認する

本機に取り付けたメモリカードの内容を、無線LANまたはUSB接続したパソコンで確認します。

・この機能を利用するには、「SDカード共有」でSDカード共有モードを「Web共有モード」に設定しておく必要があります。

102HW for Biz設定ツールホーム画面で SDカードの表示

SDカード共有画面が表示されます。

共有フォルダのリストで確認するフォルダをクリック → ファイルをクリック → ファイルを開く

ファイルが表示されます。

・フォルダを移動する場合は、 上へ をクリックすると直前のフォルダに戻ります。

詳細設定を行う

## メモリカードに情報を登録する

本機に取り付けたメモリカードに、無線LANまたはUSB接続したパソコンから情報を登録します。

・この機能を利用するには、「Web共有モード設定」でアクセスタイプを「読取り／書込み」に設定しておく必要があります。

102HW for Biz設定ツールホーム画面で SDカードの表示

アップロード

参照 ➔ 保存するファイルを選択 ➔ アップロード

共有フォルダに登録されます。

## メモリカードの情報をパソコンに保存する

本機に取り付けたメモリカードの情報を、無線LANまたはUSB接続したパソコンに保存します。

・この機能を利用するには、「Web共有モード設定」でアクセスタイプを「読取り／書込み」に設定しておく必要があります。

102HW for Biz設定ツールホーム画面で SDカードの表示

共有フォルダのリストで保存するファイルをクリック → 保存

パソコンに保存されます。

## メモリカードの情報を削除する

本機に取り付けたメモリカードの情報を、無線LANまたはUSB接続したパソコンで削除します。

・この機能を利用するには、「Web共有モード設定」でアクセスタイプを「読取り／書込み」に設定しておく必要があります。

102HW for Biz設定ツールホーム画面で SDカードの表示

共有フォルダのリストで削除するファイルにチェック → 削除

OK

共有フォルダのリストから削除されます。

# サポート情報について

## サポート情報を確認する（ヘルプ）

102HW for Biz設定ツールホーム画面で ヘルプ

ソフトバンクのサポート情報ページが表示されます。

# 困ったときは

# トラブルシューティング

## 故障とお考えになる前に

気になる症状の内容を確認しても症状が改善されない場合は、最寄りのソフトバンクショップまたはお問い合わせ先までご連絡ください。

## こんなときは

Q. 無線LAN端末を接続できない

A. 本機と無線LAN端末の無線LAN機能がオンになっていることを確認してください。

A. WPAまたはWPA2の暗号化方式を設定している場合は、無線LAN端末で本機のSSIDが選択されているか、正しいWPA事前共有キーを設定しているかを確認してください。SSIDまたはWPA事前共有キーを忘れた場合は、本機のWPSボタンを続けて2回押すと本体ディスプレイに表示されます。また、102HW for Biz設定ツールの「LAN Wi-Fi」で確認や変更ができます。

A. 無線LAN端末によっては、WPA/WPA2の暗号化方式に対応していない場合があります。お使いの無線LAN端末の取扱説明書をご確認ください。

A. WEPの暗号化方式を設定している場合は、無線LAN端末で本機のSSIDが選択されているか、正しいWEPキーを入力しているかを確認してください。SSIDまたはWEPキーを忘れた場合は、本機のWPSボタンを続けて2回押すと本体ディスプレイに表示されます。また、102HW for Biz設定ツールの「LAN Wi-Fi」で確認や変更ができます。

A. WPS機能で接続できない場合は、無線LAN端末の取扱説明書などを参照してください。それでも接続できない場合は、無線LAN機能を手動で設定する必要があります。「LAN Wi-Fi」を参照してください。

A. WPS用のPINコードが指定された無線LAN端末を接続する場合は、正しいPINコードを設定しているか、確認してください。

Q. パソコンが本機を認識しない

A. 本機が正しくパソコンに接続されているかどうかを確認してください。

A. 本機をパソコンから一度取り外し、パソコンを再起動してから、再度接続してください。

A. パソコンの「デバイスマネージャ」で「HUAWEI Mass Storage USB Device」「HUAWEI Mobile Connect - Extra Control Device」「HUAWEI TF CARD Storage USB Device」「HUAWEI Mobile Connect - Network Adapter」「HUAWEI Mobile Connect - PC UI Interface(COMxx)」「HUAWEI Enumerator Device」「HUAWEI Mobile Connect - Bus Enumerator Device」「USB Composite Device」「USB 大容量記憶装置」が表示されていることを確認してください。

Windows 8の場合：デスクトップ画面の右端からスワイプ（マウスの場合は画面の右上隅／右下隅に移動）→チャームで ⚙ ➔ コントロールパネル ➔ システムとセキュリティ ➔ デバイスマネージャー

Windows 7の場合：「コンピューター」を右クリック ➔ プロパティ ➔ システムの詳細設定 ➔ ハードウェア ➔ デバイスマネージャー

Windows Vistaの場合：「コンピュータ」を右クリック ➔ プロパティ ➔ システムの詳細設定 ➔ ハードウェア ➔ デバイスマネージャー

Windows XPの場合：「マイコンピュータ」を右クリック ➔ プロパティ ➔ ハードウェア ➔ デバイスマネージャ

Q. 本機をパソコンに接続しても、ドライバが自動的にインストールされない（Windowsパソコンのみ）

A. システムが新しいハードウェアを認識してから、インストール準備に時間がかかりますので、数秒程度お待ちください。一定時間経過してもドライバが自動的にインストールされない場合は、本機を一度パソコンから取り外してから、再度接続してください。

A. 手動でインストールしてください。インストール方法については、「Windows 8に手動でドライバをインストールする」「Windows 7に手動でドライバをインストールする」「Windows Vistaに手動でドライバをインストールする」「Windows XPに手動でドライバをインストールする」を参照してください。

Q. インターネットへの接続に失敗した

A. サービスエリア内であることをご確認ください。

A. 電波状態が良くないところであれば、電波状態が良いところへ移動して、もう一度接続してください。

A. 時間帯によって接続先が混雑していることもありますので、しばらくしてからもう一度接続してください。

A. 102HW for Biz設定ツールを起動し、ネットワーク関連の設定が正しく設定されていることを確認してください。

A. 本機の温度が高い状態が続くと、通信を制限する場合があります。しばらくしてからもう一度接続してください。

Q. 通信がすぐに切れる

A. 電波状態が良くない場合があります。電波状態が良いところで確認してください。

A. 本機の電池残量を確認してください。電池残量が少なくなっている場合は、ACアダプタを接続するか、microUSBケーブルでパソコンに接続して充電してください。

A. 本機と無線LAN端末が正しく接続されていることを確認してください。

A. 本機と無線LAN端末を無線LANで接続している場合には、本機の電源をいったん切ってからもう一度電源を入れてください。

A. 本機とパソコンをmicroUSBケーブルで接続している場合には、本機をパソコンから取り外してもう一度接続してください。

A. 上記の操作を行ってもなお接続できない場合、本機を取り外して無線LAN端末およびパソコンを再起動し、もう一度接続してください。

Q. 通信速度が遅く感じる

A. 電波状態が良くない場合があります。電波状態の良いところで確認してください。

A. 回線の状態が良くないことがあります。時間を置いて再度試してください。

A. 周辺で使用されている無線LAN端末などの電波と干渉していることがあります。本機の無線LANチャンネルを変更するか、microUSBケーブルで接続して再度試してください。

Q. PINコードを忘れた／PINロック解除コード（PUKコード）を知らない／USIMカードが完全ロック状態である

A. お問い合わせ先までご連絡ください。

Q. USIMカードが認識されない

A. 本機の電源を切り、USIMカードが正しく取り付けられていることを確認してください。

A. 指定された正しいUSIMカードであることを確認してください。

A. USIMカードが変形していないことを確認してください。

A. USIMカードの金属端子部分にキズや腐食がないことを確認してください。

A. USIMカード（特に金属端子部分）が汚れると認識できない場合もありますので、柔らかい布で軽く拭き取ってください。

A. お問い合わせ先までご連絡ください。

Q. 管理者権限（Administrator）でログインしているのかわからない

A. Windows 8の場合は、次の手順で確認してください。

デスクトップ画面の右端からスワイプ（マウスの場合は画面右上をポイント） → チャームで ⚙ → コントロールパネル → ユーザー アカウントとファミリー セーフティの アカウントの種類の変更 → 現在ログインしているアカウントの種類が「Administrator」であることを確認する

Q. 本機の設定を購入時の状態に戻したい（リセット）

A. 本体のリセットボタンを利用します。

電源が入った状態でリセットボタンを約2秒押す

本機が再起動します。

A. 102HW for Biz設定ツールを利用します。

102HW for Biz設定ツールで 設定 → システム → 本体初期化 → 初期化

本機が再起動します。

- 本機の設定がお買い上げ時の状態に戻ります。設定を変更していた場合は再度設定しなおしてください。
- USIMカード、メモリカードの登録内容は変更されません。

Q. 本機の動作が不安定

A. 極端な高温または低温、多湿の環境、直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所などで使用されていませんか。「お願いとご注意」をご確認の上、適切な環境でご使用ください。

A. 不正なソフトウェアを利用されていませんか。弊社提供以外のソフトウェアを利用してインターネット接続などをされている場合は、動作保証の対象外です。

# 仕様

## 本体

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| サイズ（W×H×D） | 約66×約104.8×約15.5mm |
| 質量 | 約135g |
| インターフェイス | USB 2.0 High Speed（microUSB端子）<br>microSDカード／microSDHCカード／microSDXCカード対応 |
| 消費電力 | 通信時最大：約4.3W<br>通信時一般：約1.4W<br>待受時（無線LANオフ時）：約23mW<br>※使用状況により消費電力は変化します。 |
| 連続通信時間 | AXGP：約8.5時間<br>3G：約7.5時間 |
| 連続待受時間 | AXGP：約400時間<br>3G：約550時間<br>（どちらも無線LANオフ時） |
| 充電時間 | ACアダプタ使用時：約4時間<br>microUSBケーブル使用時：約7.5時間 |
| 環境条件 | 動作温度範囲：0～35℃<br>保管温度範囲：-10～45℃<br>湿度：30～85% |
| 通信方式 | 日本：3G方式、AXGP方式（2.5GHz）<br>海外：3G方式<br>WLAN：IEEE802.11b/g/n |
| 対応周波数 | AXGP：<br>上り：2545～2575MHz<br>下り：2545～2575MHz<br>3G：<br>上り：880～915、1427.9～1447.9、1920～1980MHz<br>下り：925～960、1475.9～1495.9、2110～2170MHz<br>WLAN：<br>2400～2483.5MHz（全13ch） |
| 通信速度 | AXGP：上り最大10Mbps／下り最大110Mbps<br>3G：上り最大5.7Mbps／下り最大42Mbps |

## 内蔵電池

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 電圧 | 3.7V |
| 種類 | リチウムイオンポリマー |
| 容量 | 3000mAh |

## ACアダプタ

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| サイズ（W×H×D） | 約43.3×約63×約28.3mm |
| 電源 | AC100V～240V |
| 入力電流 | 最大0.2A |
| 出力電圧／電流 | 5.0V／1.0A |

## microUSBケーブル

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 長さ | 120cm |
| 使用プラグ | 標準USBプラグ |

## 使用材料（製品本体）

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 表面 | PC樹脂、PETフィルム |
| 側面 | PC樹脂＋塗装 |
| 操作ボタン（電源） | PC樹脂＋塗装、レーザエッチング |
| 操作ボタン（WPS） | PC樹脂＋TPU、塗装 |
| 底面 | PC樹脂＋塗装 |
| USIMカードスロット | PC樹脂＋TPU、塗装 |
| メモリカードスロット | PC樹脂＋TPU、塗装 |

## 使用材料（ACアダプタ）

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 本体 | PC樹脂、ABS樹脂 |
| プラグ | CuPb合金 |
| USBコネクタ | CuPb合金 |

## 使用材料（microUSBケーブル）

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 本体 | PPO |
| USBプラグ | 鉄、ニッケルメッキ |
| microUSBプラグ | ステンレススチール、ニッケルメッキ |

# 102HW for Biz 取扱説明書 索引

お



か



く



さ



し



す



そ



て



と



は



ほ

## む



## め



## も



## る



## I



## L



## M



## U



## W



## 1



## 4

# SoftBank 102HW for Biz　取扱説明書

2014年3月　第2版
ソフトバンクモバイル株式会社

※ご不明な点はお求めになられた
　ソフトバンク携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：SoftBank 102HW for Biz
製造元：HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.

## Ｗｉ－Ｆｉルーター返却のお願い

平素より、ＢＢパック　Ｓｅｌｅｃｔをご利用いただき誠にありがとうございます。

弊社よりレンタル提供させていただいているＷｉ－Ｆｉルーターにおいて、故障又は解約した場合、Ｗｉ－Ｆｉルーターをご返却いただく必要がございます。

お手数ではございますが、ご返却につきましては、「返却対象となるＷｉ－Ｆｉルーター」をご確認いただき、下記の通りご返却いただきますようお願い申し上げます。

記

１．故障時及び解約時は、ＳＢフレームワークスより「レンタル端末返却キット」がお客様先に送付されます。

「レンタル端末返却キット」の内容

① 案内状
② レンタル端末送付書
③ 着払い伝票
④ 返送用封筒又は段ボール箱

２．　上記「レンタル端末返却キット」に同梱の「②レンタル端末送付書」の　□　内にご署名、ご捺印してください。

重要　※必ず返却端末と一緒に同梱してください。（精密機器のため、緩衝材を同梱して保護ください）

レンタル端末送付書

案件区分（○を付ける）　故障 ・ 紛失 ・ 解約 ・ その他（　　　）

お客様ご確認欄

企業名　フリガナ　リコージャパン株式会社

住所　〒□□□-□□□□

部署名　電話番号（　　　）

確認署名欄
・USIMカード、アクセサリー類は全て外しました
・端末に記録された全てのデータを消去しました。
・残っているデータは、貴社にて消去してかまいません。
・データが残っていた事により損害が生じても、貴社の責任は問いません。

ご署名日：　年　月　日
ご利用者または担当者署名：お客様の企業名・担当者名　印（サイン可）

ご返却いただく物
（本体）（電池パック）（電池蓋）を返却ください。

総台数　台

端末情報

| 台 | 電話番号 | 機種 | カラー | その他（IMEI等） |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 1 | | | | |
| 2 | | | | |
| 3 | | | | |

返却先　〒135-0064　東京都江東区青海3-4-19　青海流通センター1号棟3階
ソフトバンクテレコム株式会社 モバイルサービスセンター 宛（電話：044-388-7104）

３．上記「レンタル端末返却キット」に同梱の「④返送用封筒又は段ボール箱」に以下「同梱して頂くもの」を入れて頂き、「③着払い伝票」にて送付してください。

【同梱して頂くもの】

・「②レンタル端末送付書」

・Wi-Fi ルーター（故障機又は解約機）

※ご返却品の本体間違いにご注意ください。

| 102HW for Biz |
| --- |
| 本体 |

以上